



2023年10月期 第3四半期

決算説明資料

セルソース株式会社（東証グロース 4880）

2023年9月13日

# 2023年10月期 第3四半期業績

## 売上高

**34.0** 億円  
(前年同期比+19%)

## 営業利益

**10.4** 億円  
(前年同期比+11%)

## 四半期(当期)純利益

**6.7** 億円  
(前年同期比+15%)

## 売上高営業利益率

**30.6** %  
(前年同期比▲2.1pt)

## 加工受託件数

**20,584** 件  
(前年同期比+28%)

## 期末提携医療機関数

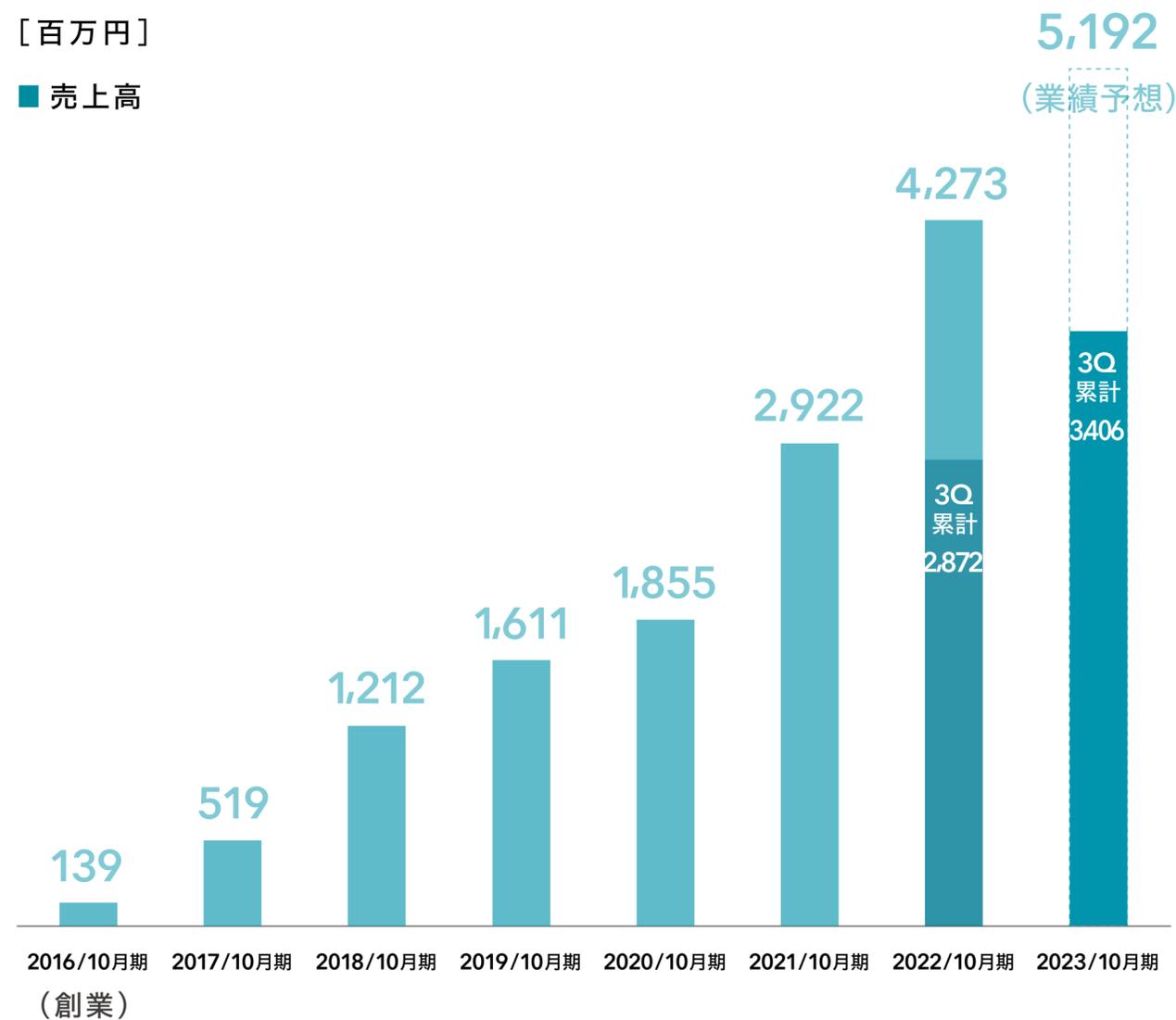
**1,654** 院  
(前年同期比+353院)

創業来売上・利益ともに力強い成長を継続

売上高

[百万円]

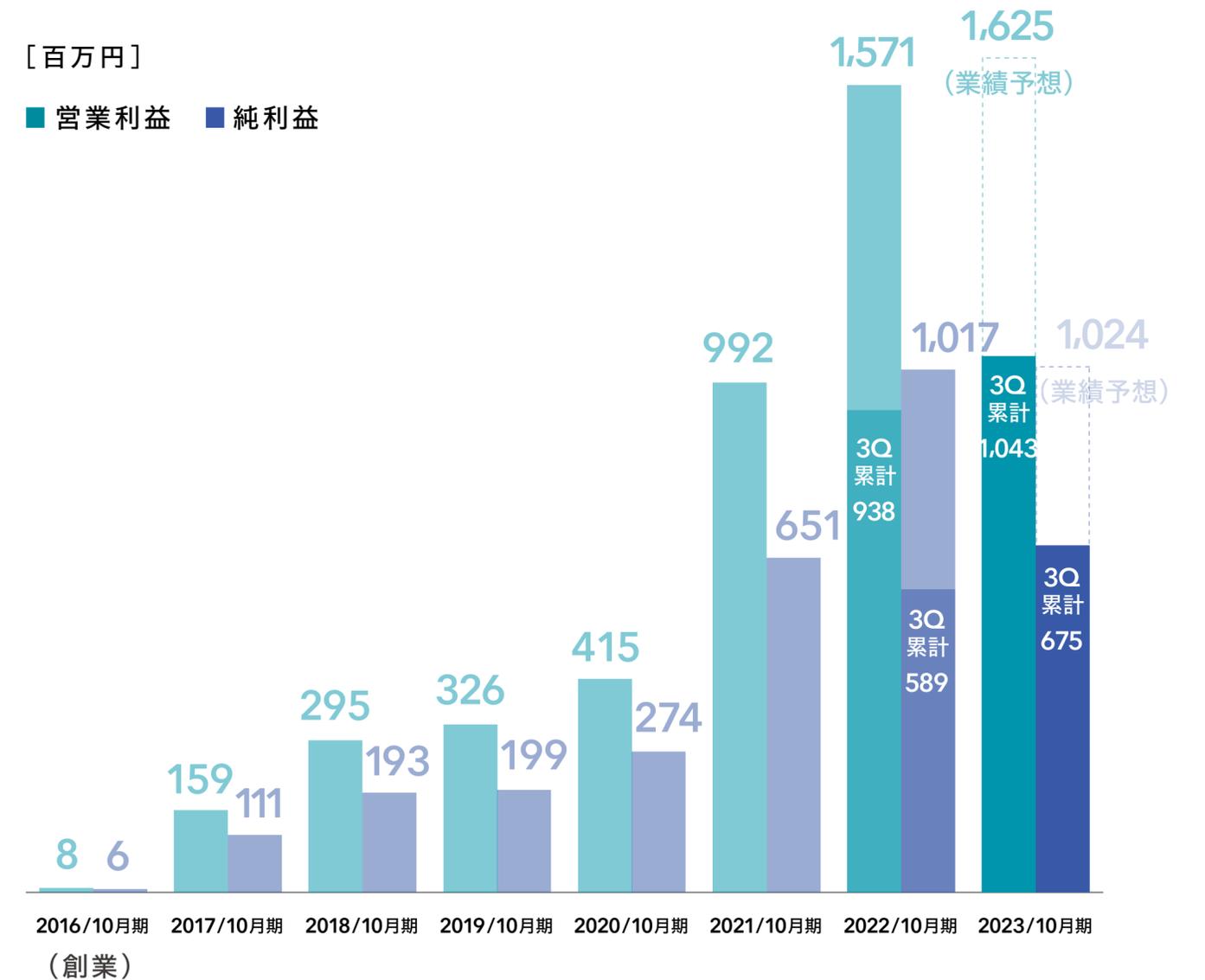
■ 売上高



営業利益・純利益

[百万円]

■ 営業利益 ■ 純利益



## 高い利益率を維持しながら成長を継続

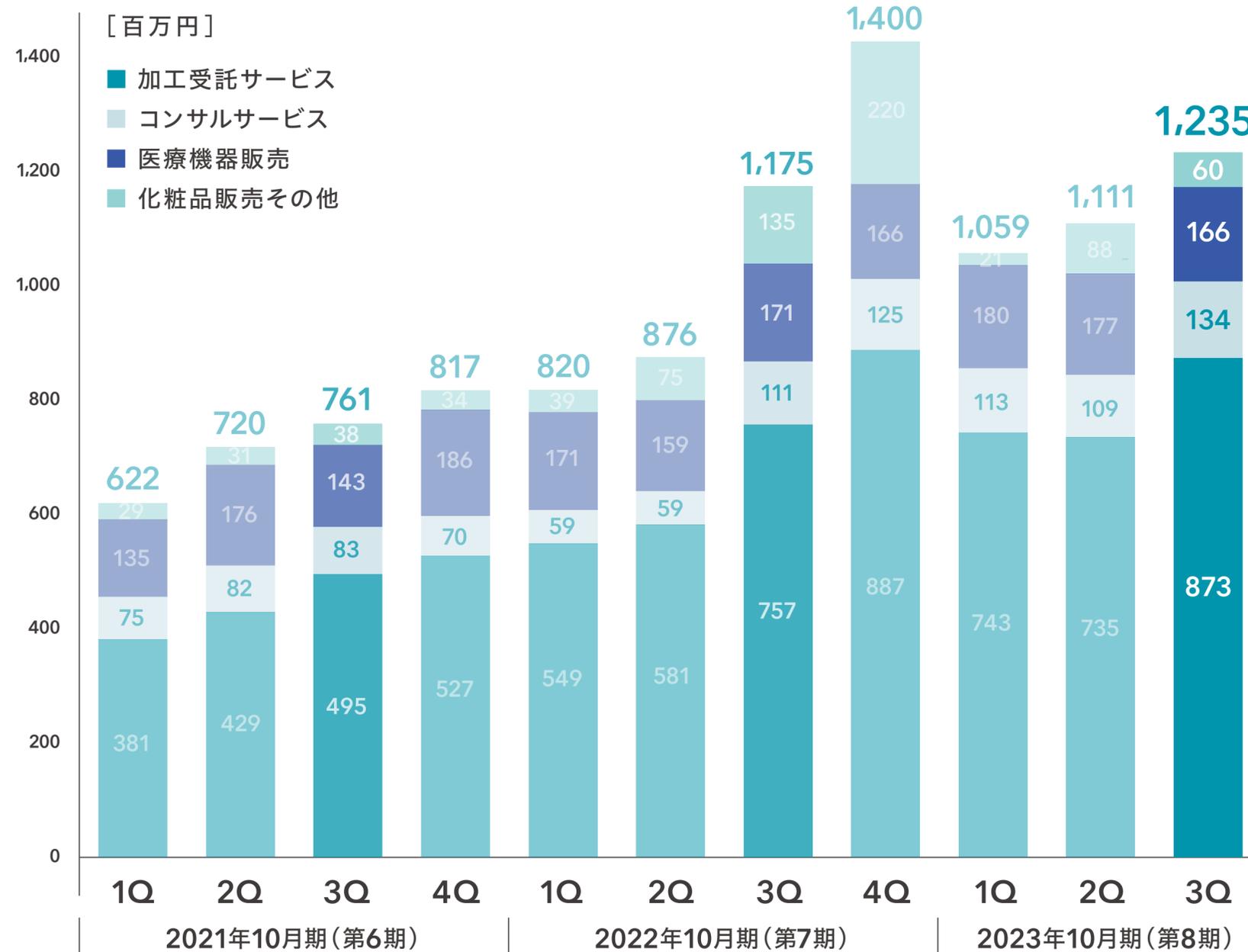
[百万円]	2023/10期3Q累計	前年同期	増減	業績予想	進捗率
売上高	<b>3,406</b>	2,872	<b>+19%</b>	<b>5,192</b>	<b>66%</b>
売上総利益	<b>2,431</b>	2,037	<b>+19%</b>	-	-
売上総利益率	<b>71%</b>	71%	<b>+0.5pt</b>	-	-
営業利益	<b>1,043</b>	938	<b>+11%</b>	<b>1,625</b>	<b>64%</b>
営業利益率	<b>31%</b>	33%	<b>▲2.1pt</b>	<b>31%</b>	-
経常利益	<b>1,039</b>	946	<b>+10%</b>	<b>1,625</b>	<b>64%</b>
四半期(当期)純利益	<b>675</b>	589	<b>+15%</b>	<b>1,024</b>	<b>66%</b>

2023年10月期の業績予想につきましては、記録的な猛暑日の影響等により一部の医療機関からの加工受託件数が足元低調に推移しており、適時開示基準に基づく修正は不要であるものの、2022年12月14日に公表いたしました予測値に対する進捗率において想定を下回っております。現在、より精緻な数値の算出に必要な情報の取得に努めておりますが、予測値に修正が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

- 血液由来加工受託サービスの四半期売上高が **過去最高** を更新
- 脂肪由来幹細胞加工受託サービスの四半期売上高が **過去最高** を更新
- コンサルティングサービスの四半期売上高が **過去最高** を更新
- 血液由来加工受託件数が四半期 **過去最高** を更新
- 脂肪由来幹細胞加工受託件数が四半期 **過去最高** を更新
- 滑膜由来幹細胞加工受託サービスについて医療機関6院と契約を締結し、治療を開始
- 産科婦人科の提携医療機関(232院)を活用して卵子凍結保管受託サービスを開始
- 日本初のエクソソーム医薬品開発に向け、科研製薬とフィージビリティ・スタディ契約を締結

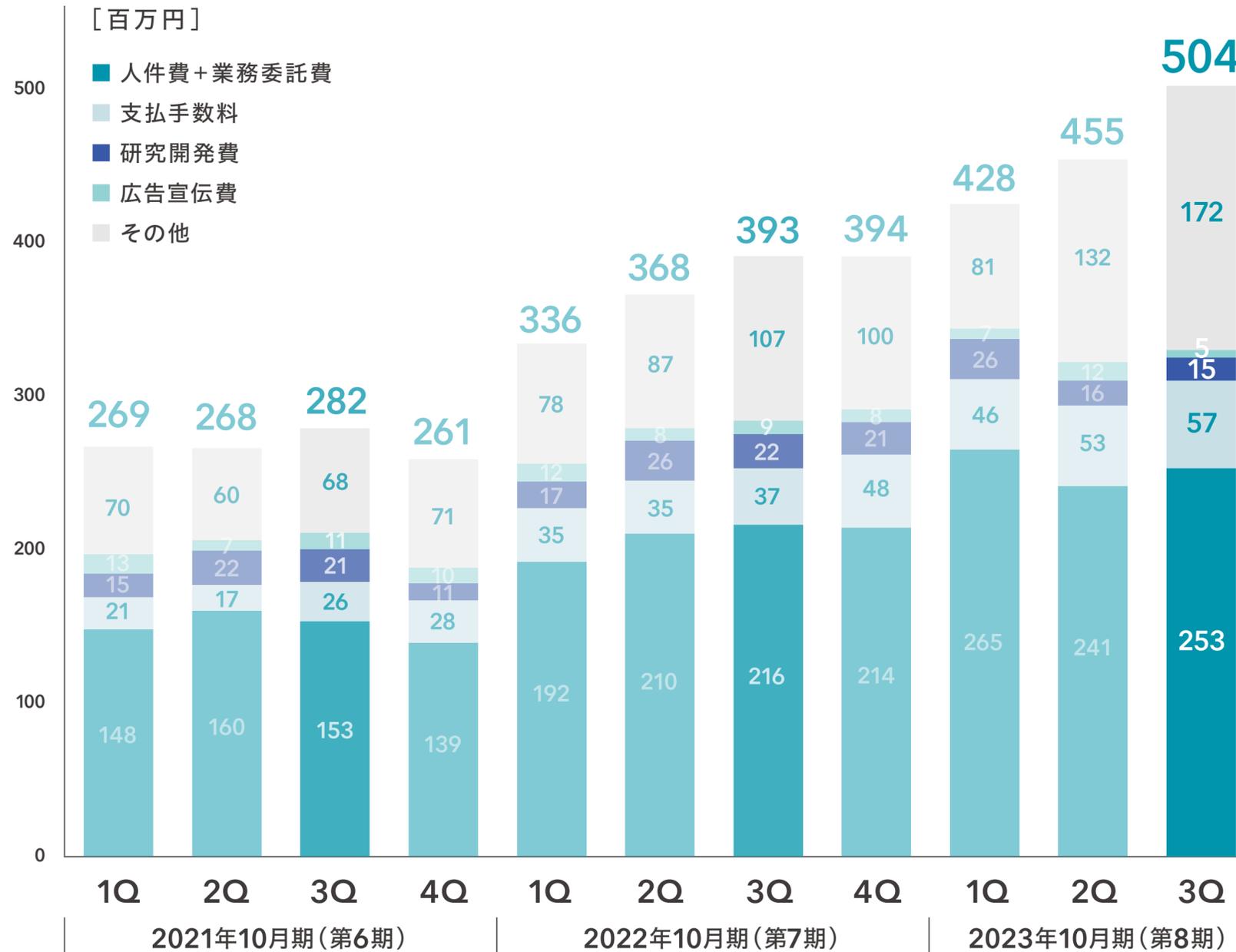
※ 四半期:2023年5月~7月

### 加工受託サービスが順調な成長を牽引



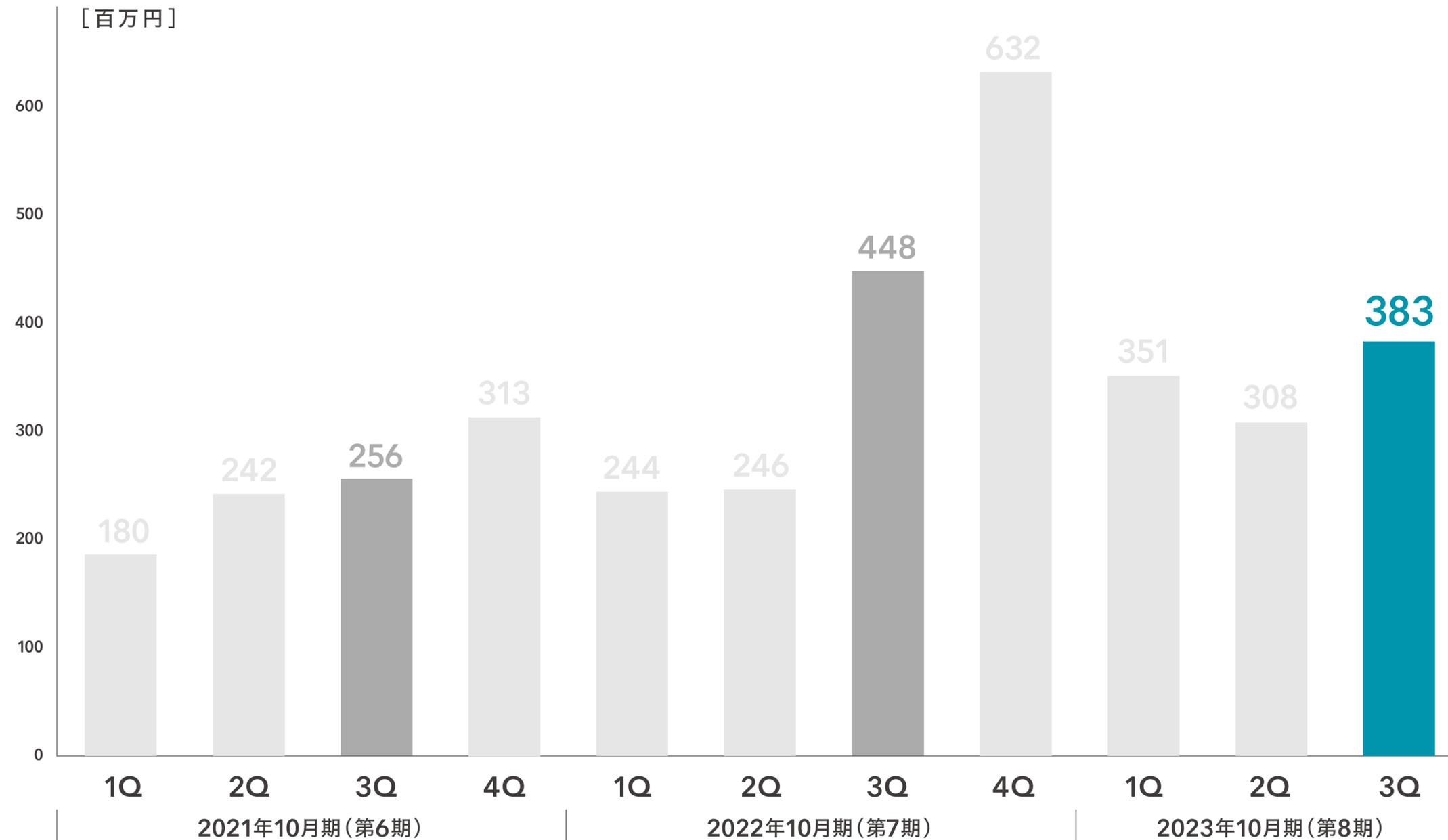
	2022/10期3Q累計(前期)	2023/10期3Q累計(当期)	前年同期比
合計	2,872 百万円	3,406 百万円	+19%
加工受託サービス	1,888 百万円	2,352 百万円	+25%
コンサルティングサービス	231 百万円	357 百万円	+55%
医療機器販売	503 百万円	524 百万円	+4%
化粧品販売その他	250 百万円	171 百万円	▲32%

非連続的成長に向けた戦略的投資を継続して実施



	2022/10期3Q累計(前期)	2023/10期3Q累計(当期)	前年同期比
合計	1,098 百万円	1,388 百万円	+26%
人件費+業務委託費	619 百万円	759 百万円	+23%
支払手数料	108 百万円	157 百万円	+45%
研究開発費	65 百万円	58 百万円	▲11%
広告宣伝費	30 百万円	25 百万円	▲18%
その他	274 百万円	386 百万円	+41%

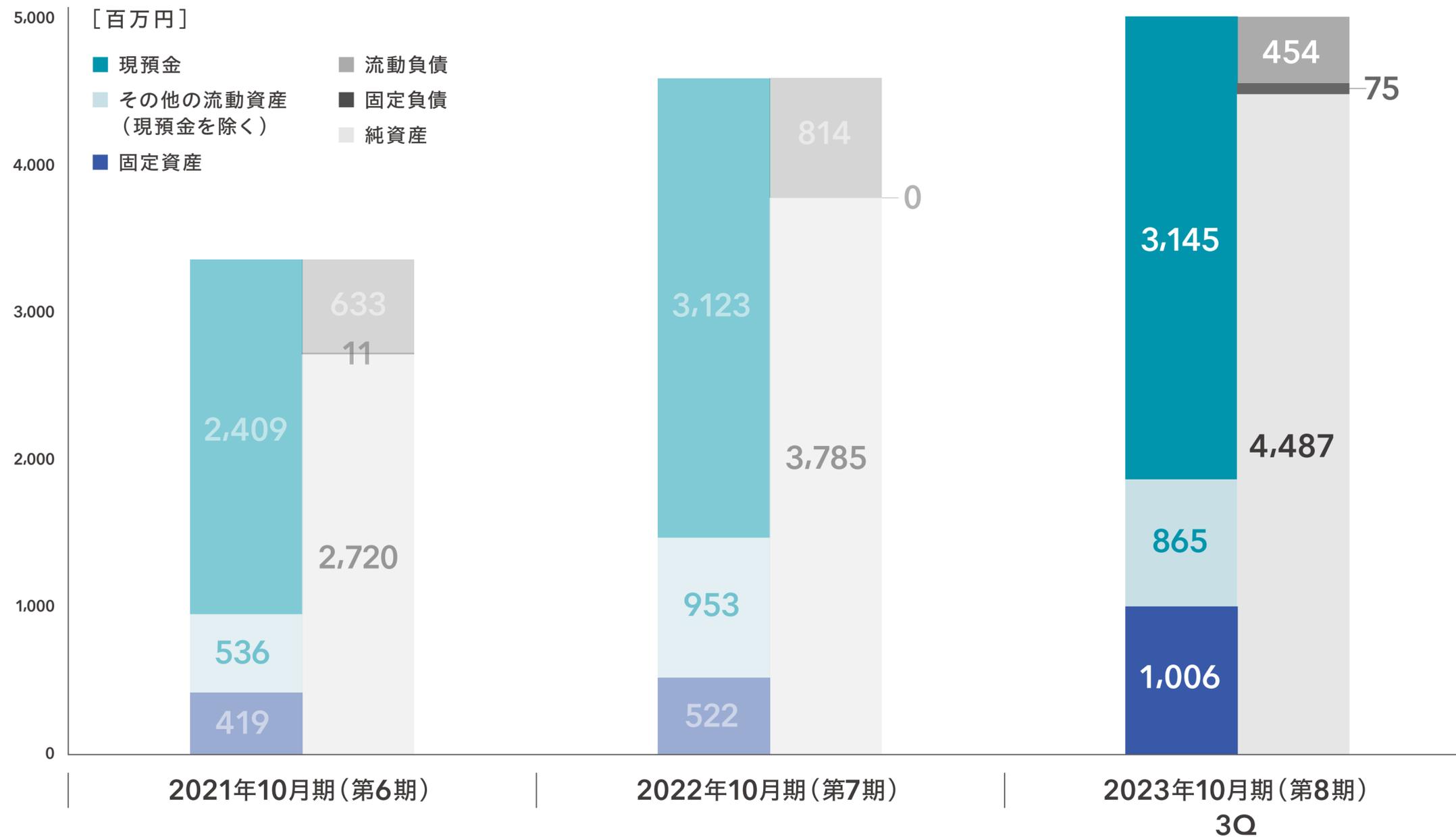
成長投資により販管費が増加するも、高い利益率を維持



当期累計 **1,043**百万円  
 (前年同期比 **+11%**)

営業利益率 **31%**  
 (前年同期比 **▲2.1pt**)

投下可能資本を着実に蓄積



総資産

**5,017** 百万円

自己資本比率

**88.5%**

# 各種KPI

期末提携  
医療機関数

**1,654**院  
(前年同期比+353院)

血液由来  
加工受託件数\*

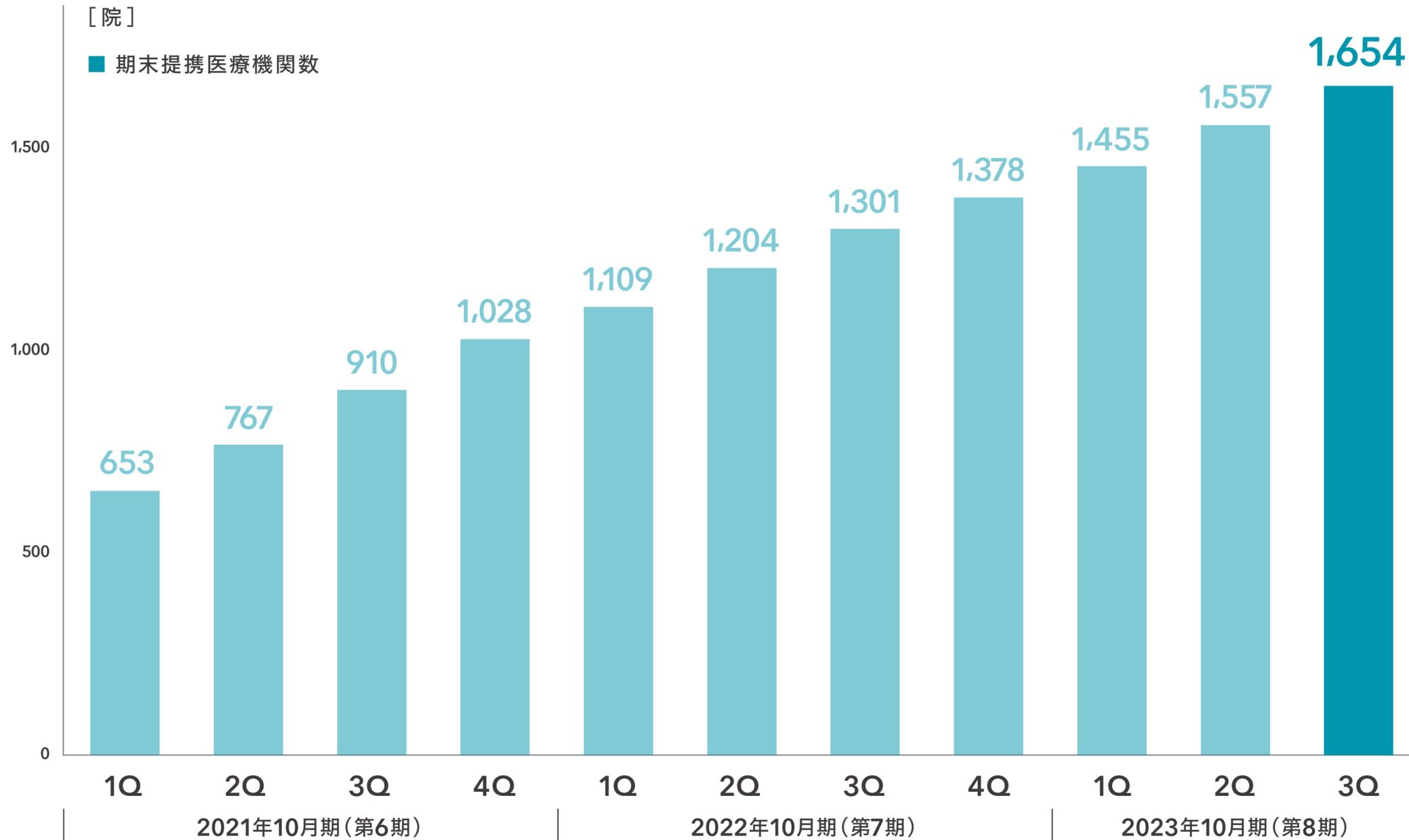
**18,932**件  
(前年同期比+26%)

脂肪由来幹細胞  
加工受託件数\*

**1,652**件  
(前年同期比+49%)

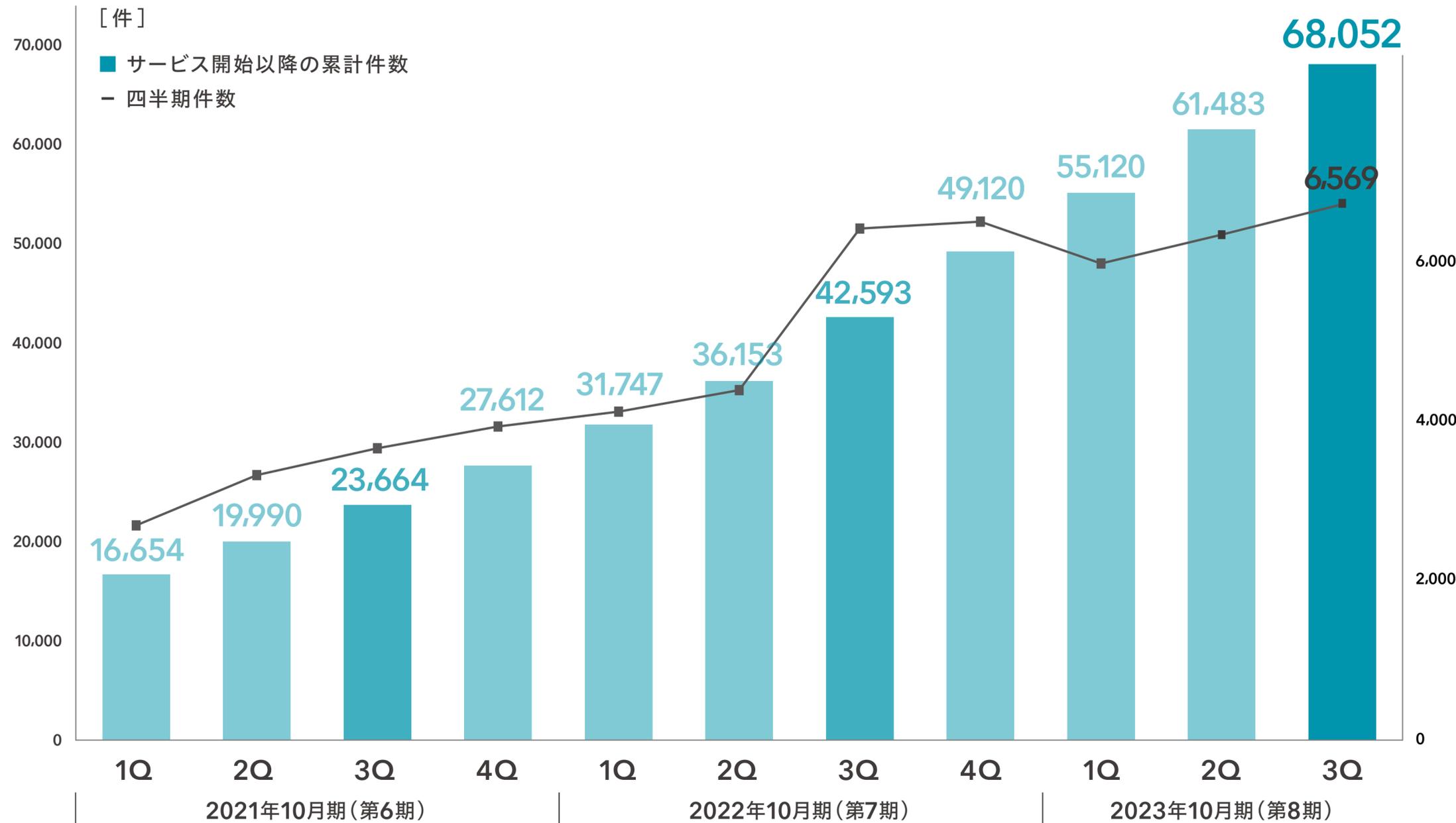
\*2023年10月期 第3四半期累計期間における件数

高い成長性を維持しながら順調に医療機関ネットワークを拡大



当四半期末 **1,654** 院  
(前年同期比 **+353** 院)

四半期過去最高件数を達成

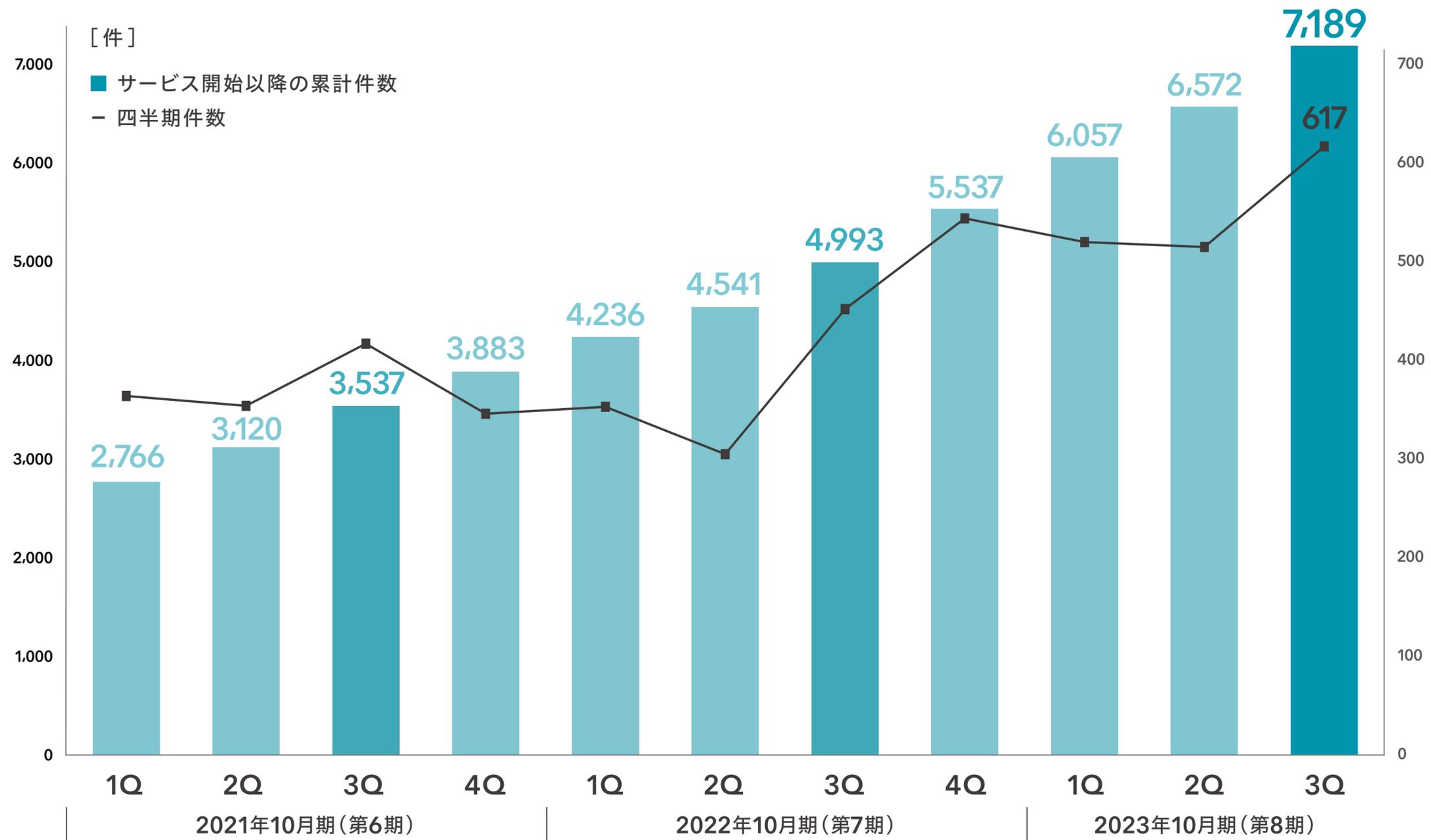


累計 **68,052** 件

当期累計 **18,932** 件

(前年同期比 **+26%**)

四半期過去最高件数を達成

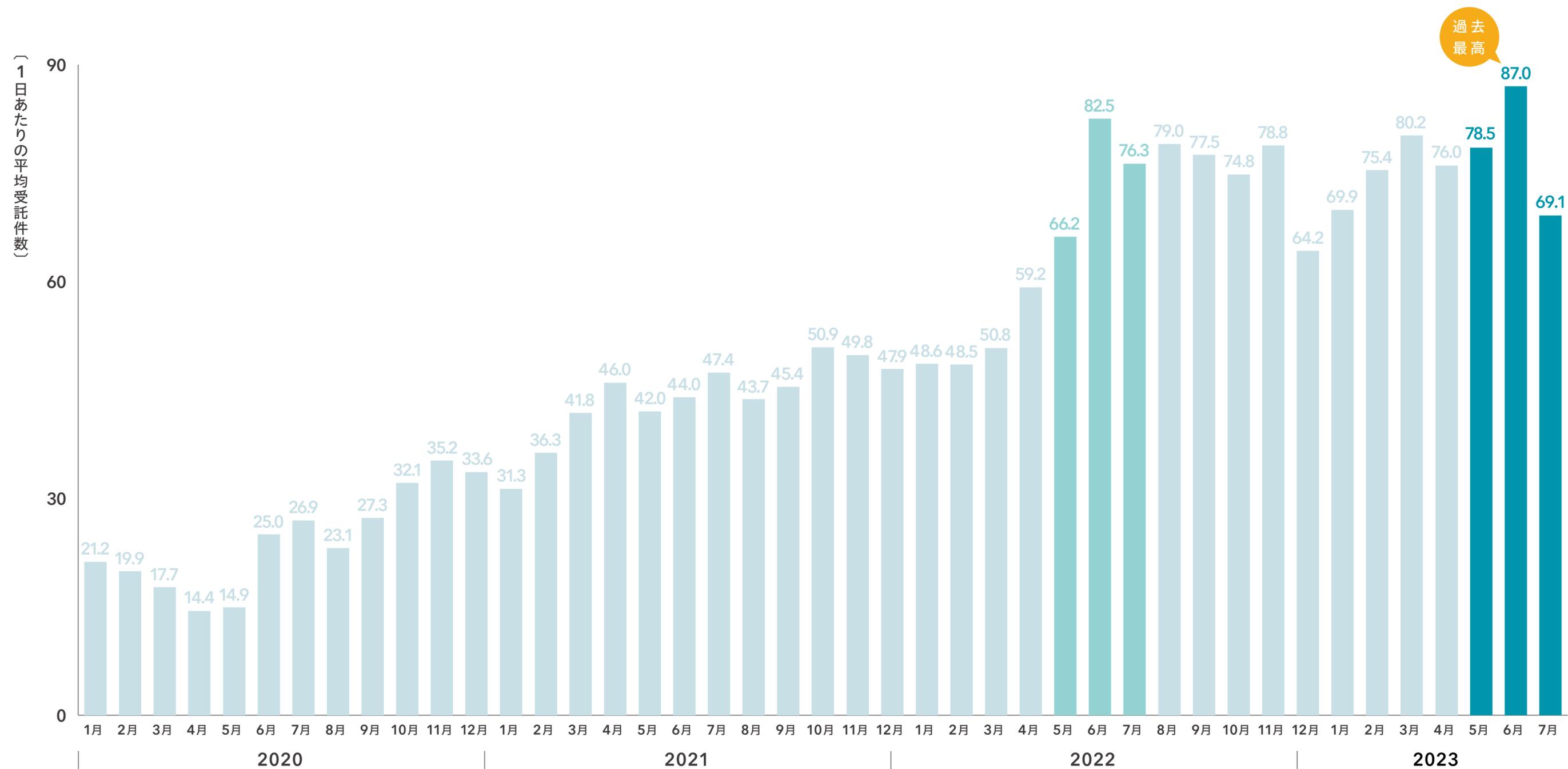


累計 **7,189** 件

当期累計 **1,652** 件

(前年同期比 +49%)

# 1日あたりの平均加工受託件数の推移



セルソース  
グロースレートの

50.7%

※セルソースグロースレート=売上高成長率+EBITDAマージン

売上高成長率

+18.6%

※前年同期比

EBITDAマージン

32.1%

人的資本ROI

122.1%

※人的資本ROI=EBITDA÷人件費

社員数  
(FTEベース)

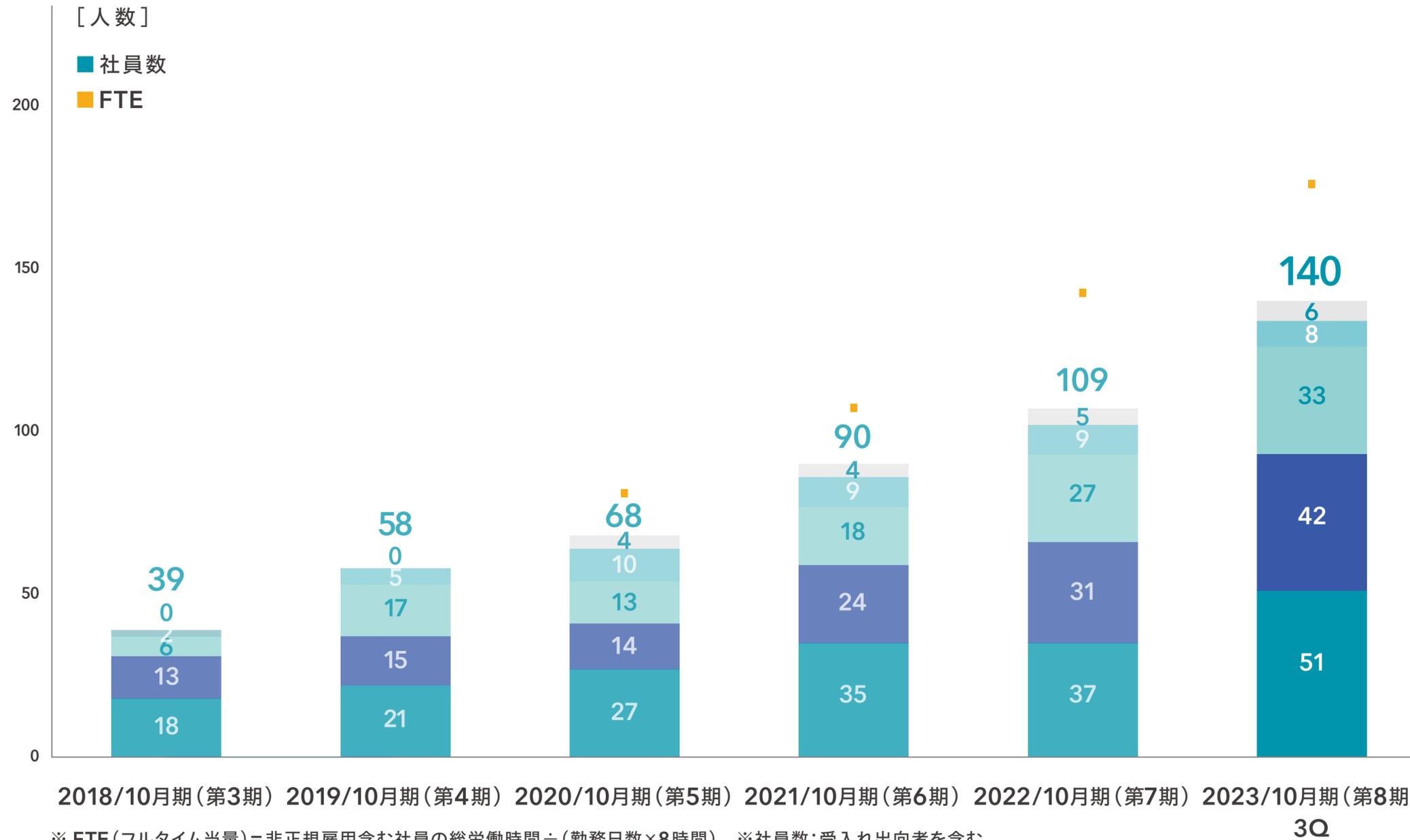
176人

※ FTE(フルタイム当量) = 社員の総労働時間 ÷ (勤務日数 × 8時間)

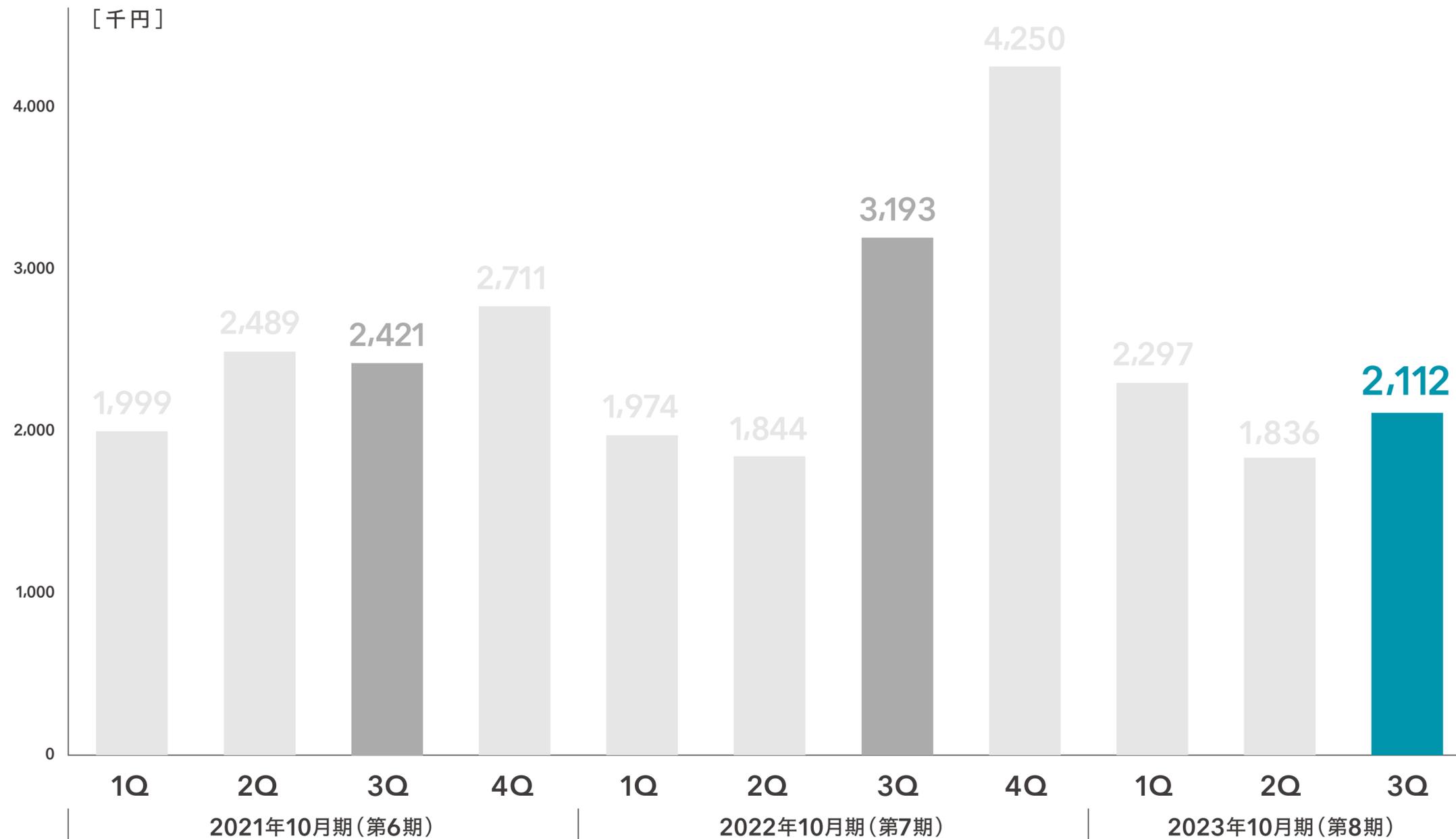
一人当たりEBITDA  
(FTEベース)

6,217千円

## 価値創造に必要な人的資本を蓄積



## 成長の源泉となる人的資本への先行投資を継続



### 人的資本KPI

生産性の指数として、  
一人当たりのEBITDA  
(稼ぐ力)をモニタリング

**一人当たりEBITDA**  
= **EBITDA / FTE\***

\* FTE (フルタイム当量)  
= 社員の総労働時間 ÷ (勤務日数 × 8時間)

(百万円)	2021/10期				2022/10期				2023/10期		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
売上高	622	720	761	817	820	876	1,175	1,400	1,059	1,111	1,235
加工受託サービス	381	429	495	527	549	581	757	887	743	735	873
コンサルティングサービス	75	82	83	70	59	59	111	125	113	109	134
医療機器販売	135	176	143	186	171	159	171	166	180	177	166
化粧品販売その他	29	31	38	34	39	75	135	220	21	88	60
販売管理費	269	268	282	261	336	368	393	394	428	455	504
営業利益	180	242	256	313	244	246	448	632	351	308	383
四半期純利益	113	155	159	223	155	152	280	428	216	194	265
総資産	2,446	2,750	2,999	3,365	3,202	3,545	3,825	4,599	4,416	4,812	5,017
純資産	2,158	2,325	2,489	2,720	2,884	3,048	3,348	3,785	4,005	4,201	4,487
EBITDA	192	255	269	329	257	261	464	649	366	323	403
FTE	96	103	111	119	130	142	145	153	159	176	191
一人当たりEBITDA (千円)	1,999	2,489	2,421	2,771	1,974	1,844	3,193	4,250	2,297	1,836	2,112
加工受託件数 (件)	3,067	3,690	4,091	4,294	4,488	4,711	6,892	7,071	6,520	6,878	7,186
脂肪由来幹細胞加工受託件数 (件)	364	354	417	346	353	305	452	544	520	515	617
血液由来加工受託件数 (件)	2,703	3,336	3,674	3,948	4,135	4,406	6,440	6,527	6,000	6,363	6,569
期末提携医療機関数 (院)	653	767	910	1,028	1,109	1,204	1,301	1,378	1,455	1,557	1,654

# 事業ハイライト



## ZERO LAB

### 概要

【所在地】

〒210-0821  
神奈川県川崎市川崎区殿町3-25-22

【品質基準(予定)】

再生医療関連事業における細胞培養加工施設  
※旧GMP基準取得施設

【延床面積】

2,303㎡

【移管予定業務】

加工(血液、脂肪、滑膜、エクソソーム)、研究開発

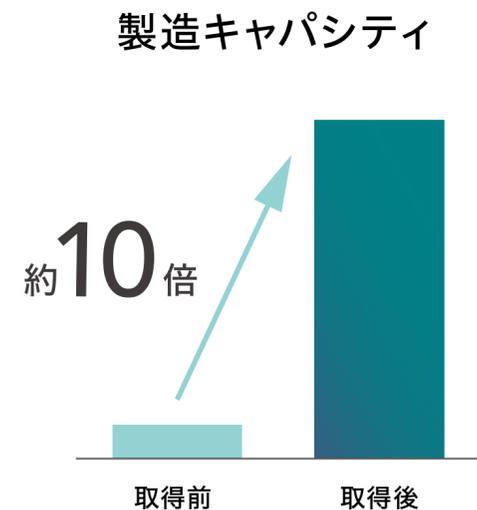
【設備投資の額】

50,000千円

【稼働開始時期】

2024年10月期中(予定)

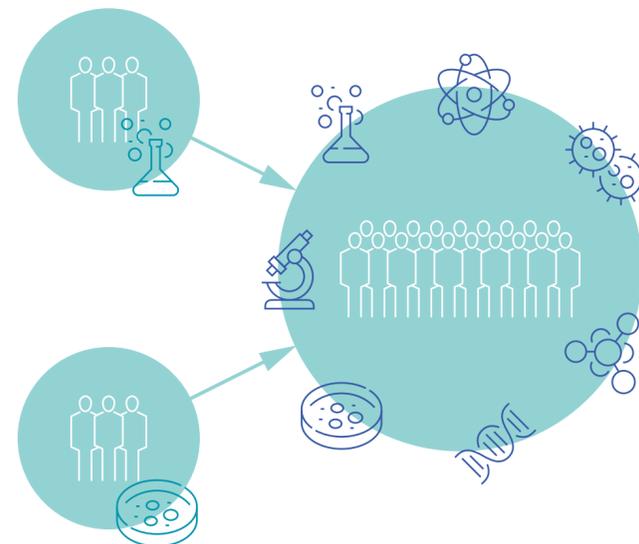
## ① 製造キャパシティの拡大



- 製造キャパシティは現在の約10倍に
- 継続的な加工受託件数の増加に対応できる製造体制を構築

※製造キャパシティは主に製造施設面積に比例します。  
製造拠点の拡大により製造施設面積は131㎡から1,906㎡に拡大しました。

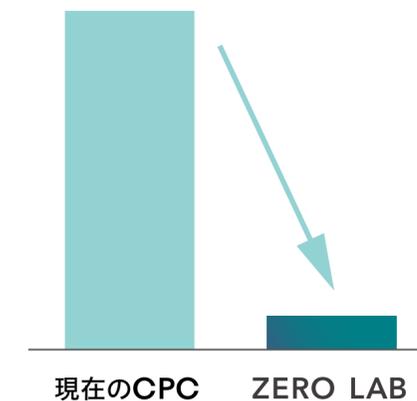
## ② 業務効率の向上



- 製造拠点及び研究開発拠点を集約することで、業務効率化を実現

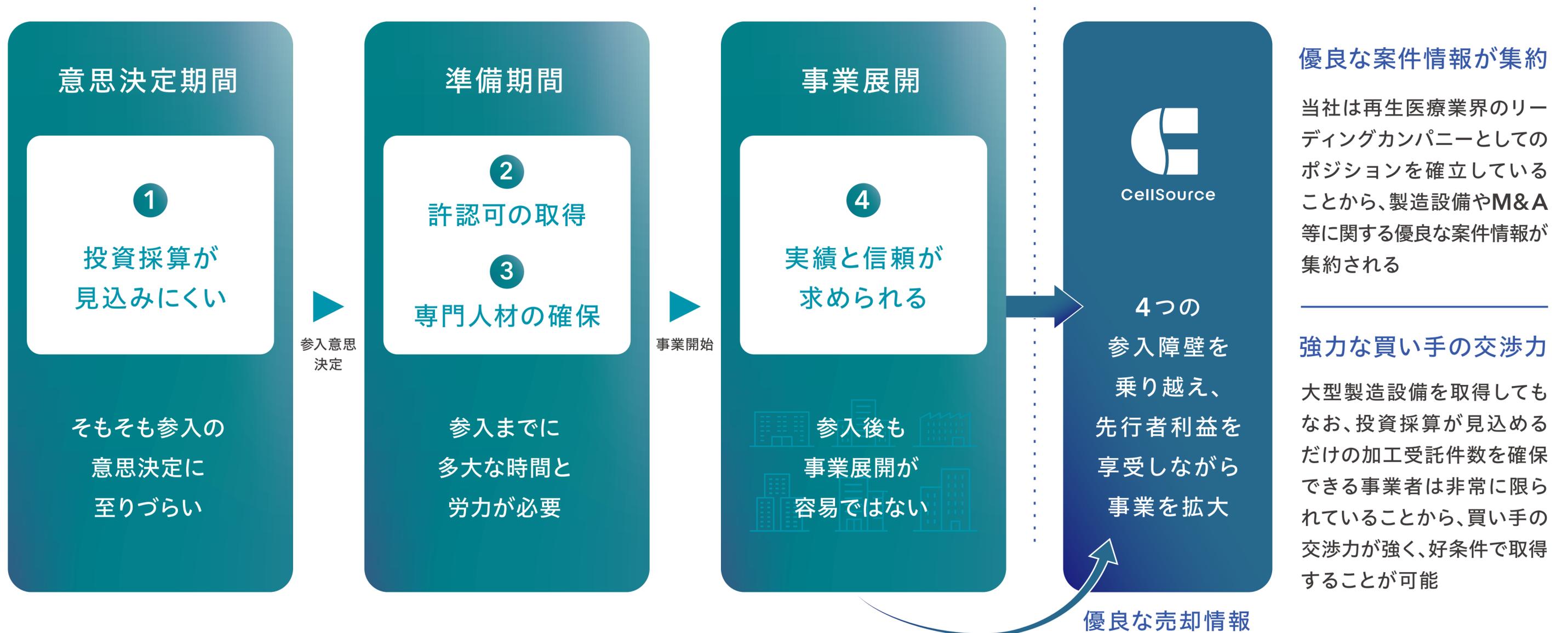
## ③ 製造原価の低減

面積あたり固定費(イメージ図)



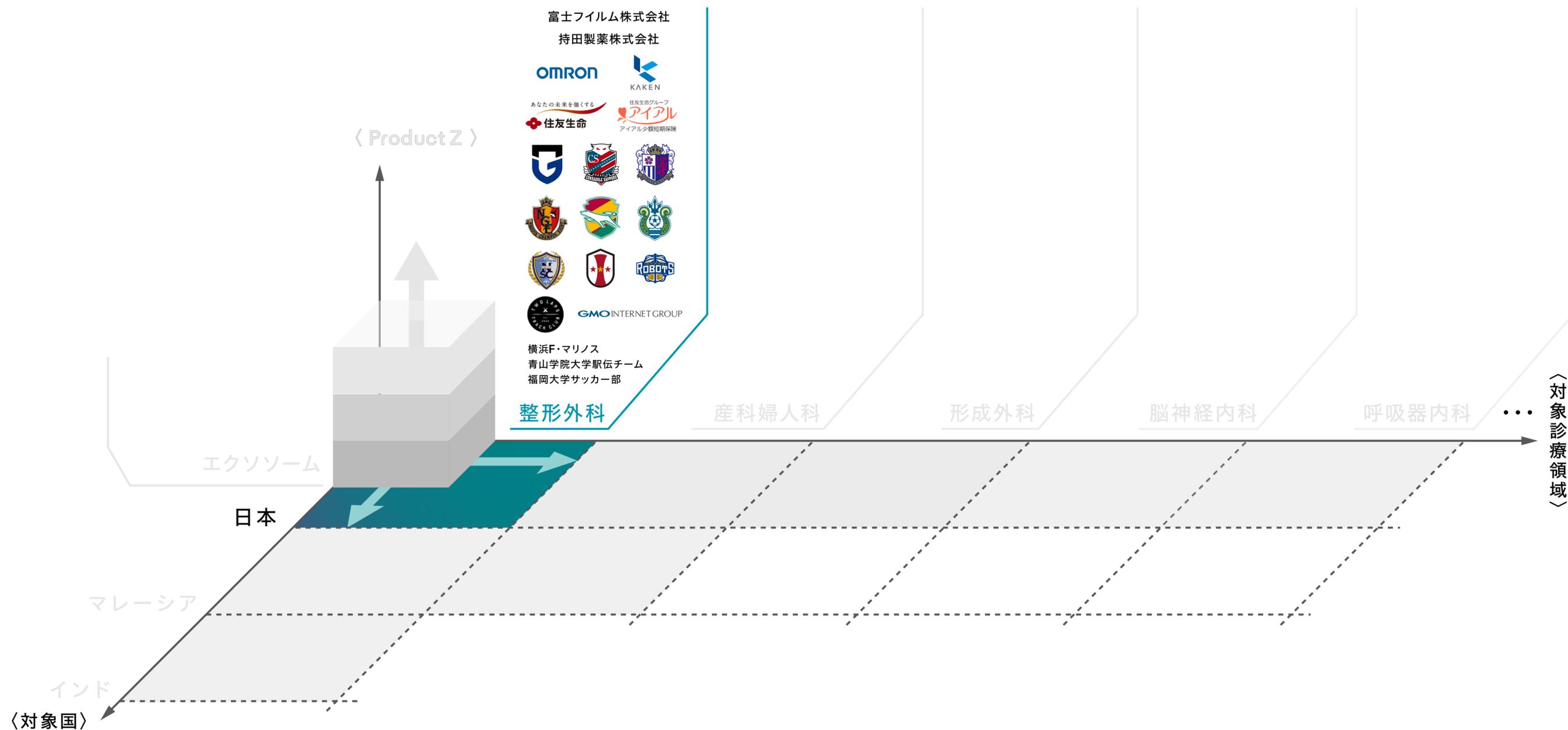
- 設備投資額は限定的であり、面積あたりの固定費が大幅に低減
- 加工受託件数の増加にともない1件あたりの製造原価が低減する見込み

4つの参入障壁を乗り越え、リーディングカンパニーとしてのポジションを確立  
優良なアセットを好条件で取得することが可能





※形成外科領域、マーケティング支援事業、マーケティング支援事業・データ活用事業に関しては、引き続き事業継続をしておりますが、投資判断に影響を及ぼす事業進捗がないことから、記載を省略しております。投資判断に影響を及ぼす進展があれば、適宜、適切な方法で速やかに開示します。 ※当社が事業開始している領域に色を付けて区分しております。



※形成外科領域、マーケティング支援事業、マーケティング支援事業・データ活用事業に関しては、引き続き事業継続をしておりますが、投資判断に影響を及ぼす事業進捗がないことから、記載を省略しております。投資判断に影響を及ぼす進展があれば、適宜、適切な方法で速やかに開示します。

持田製薬株式会社とPFC-FD™の拡大に向けた事業提携契約を締結  
全国に張り巡らされた同社の強固な営業チャネルを活用して事業の拡大を加速

## 持田製薬株式会社

売上高

1,032 億円

(2023年3月期)

従業員数(連結)

1,529名

(2023年3月末)

全国に張り巡らされた  
営業拠点

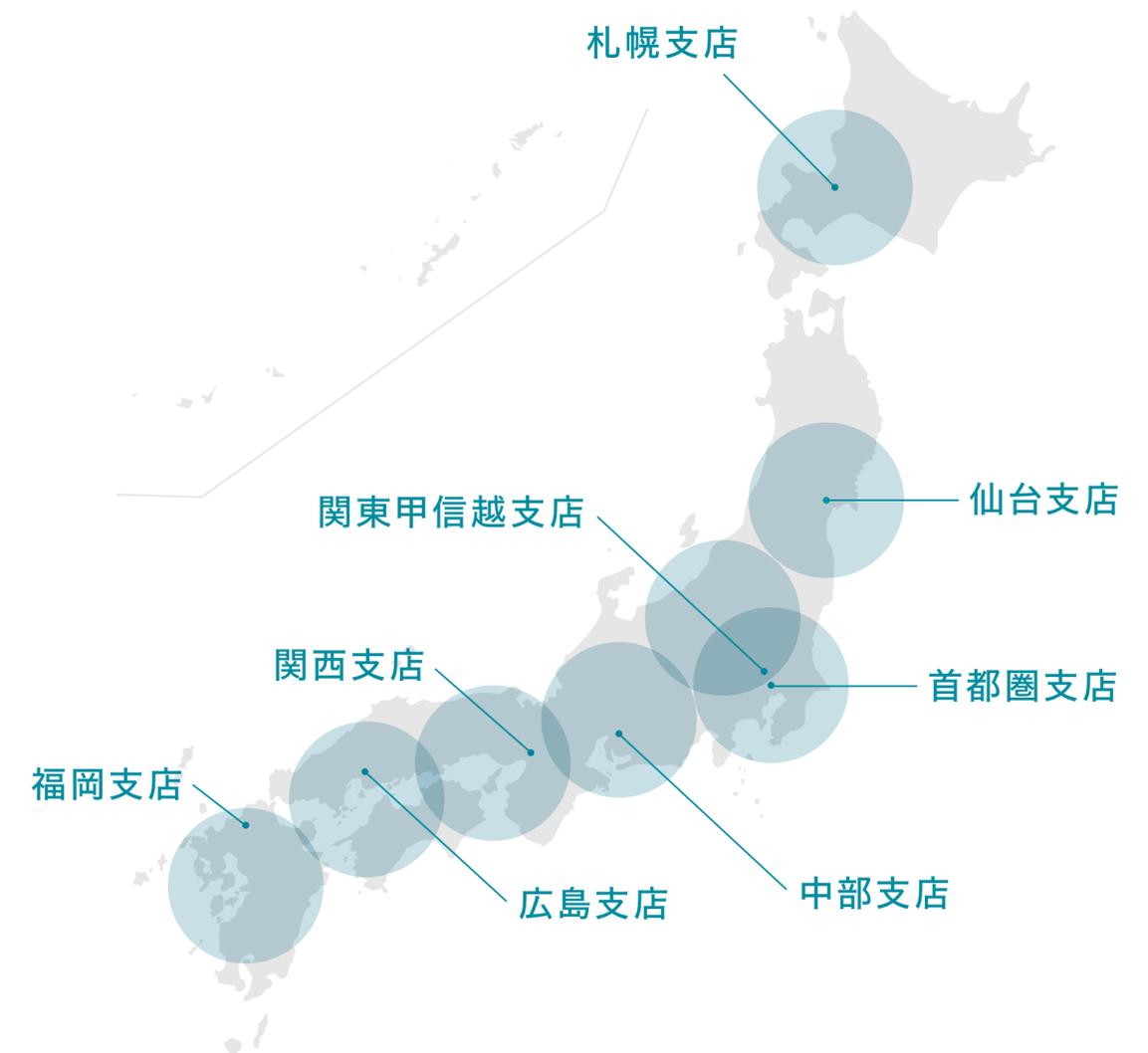
全8支店

(2023年3月末)

上場市場

プライム市場

(証券コード:4534)



※PFC-FDはセルソース株式会社の保有する商標です。

2023年3月に滑膜由来幹細胞加工受託サービスの開始を公表して以降、すでに6院と契約済  
 これまでアプローチが難しかった総合病院へのサービス提供も今後さらに積極化させていく

2022年6月

富士フィルムとの  
契約締結

富士フィルム



CellSource

2023年3月

滑膜由来幹細胞加工  
受託サービス提供開始



2023年6月

医療機関への導入  
臨床応用を開始

6院と契約済

- 東京医科歯科大学
- 神戸大学附属病院
- 獨協医大埼玉医療センター
- 重工記念病院
- 福岡整形外科病院
- いらはら病院

現在～

提携医療機関の拡大

約4,900院へ

これまでアプローチが難しかった  
一般病院がターゲット

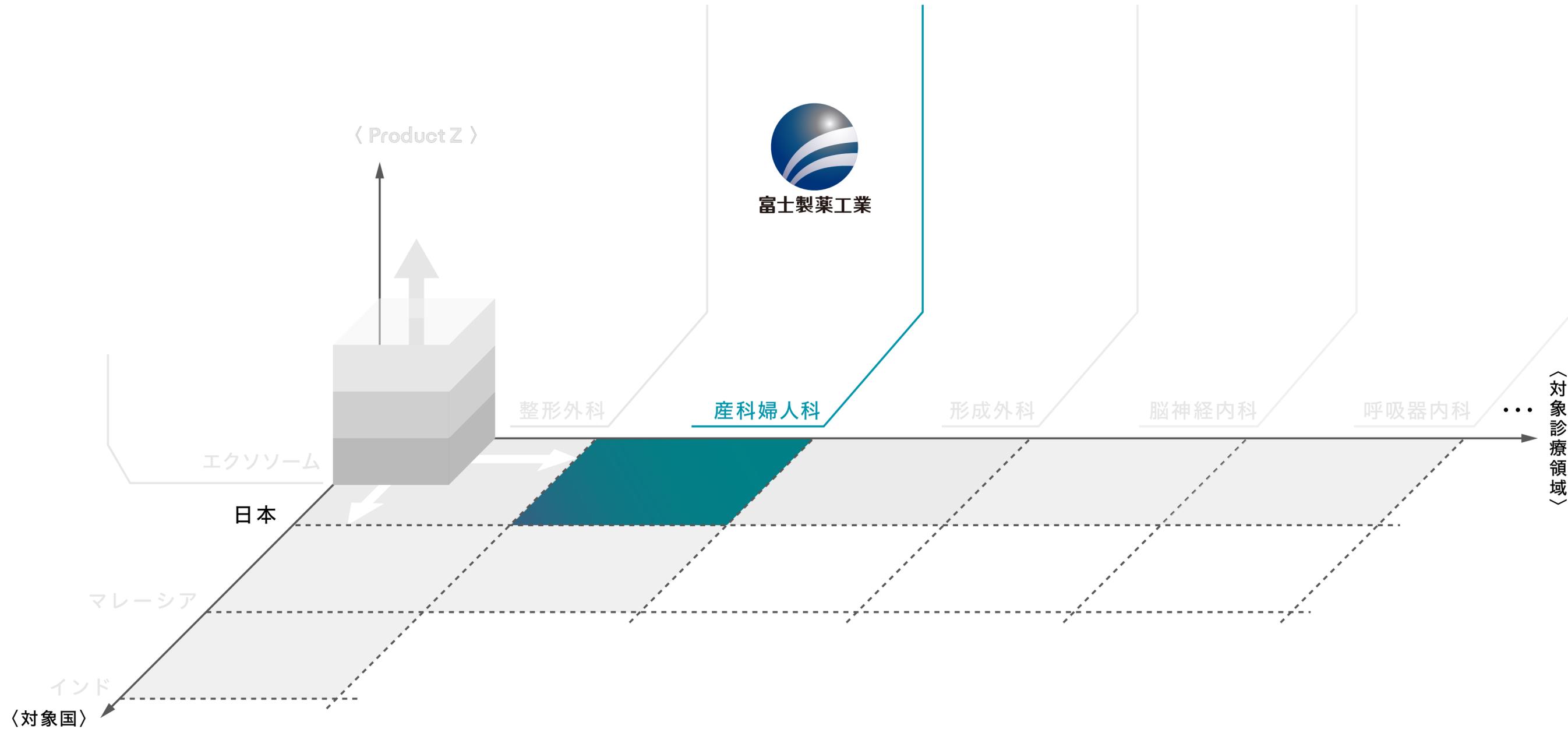
整形外科を標榜する医療機関  
約17,300院

一般病院  
約4,900院

一般診療所  
約12,400院

(2020年時点)

※厚生労働省 令和2(2020)年医療施設(静態・動態)調査(確定数)・病院報告の概況



※形成外科領域、マーケティング支援事業、マーケティング支援事業・データ活用事業に関しては、引き続き事業継続をしておりますが、投資判断に影響を及ぼす事業進捗がないことから、記載を省略しております。投資判断に影響を及ぼす進展があれば、適宜、適切な方法で速やかに開示します。

産科婦人科への展開は富士製薬工業との提携で加速し、早期に血液由来加工受託サービスを確立  
新たに卵子凍結保管を開始し、より重層的な収益基盤を確立へ

強固な販売網の確立

富士製薬工業と  
業務提携



富士製薬工業



CellSource

医療機関との提携

不妊治療クリニック

232院と  
契約締結

体外受精・胚移植に  
関する登録施設

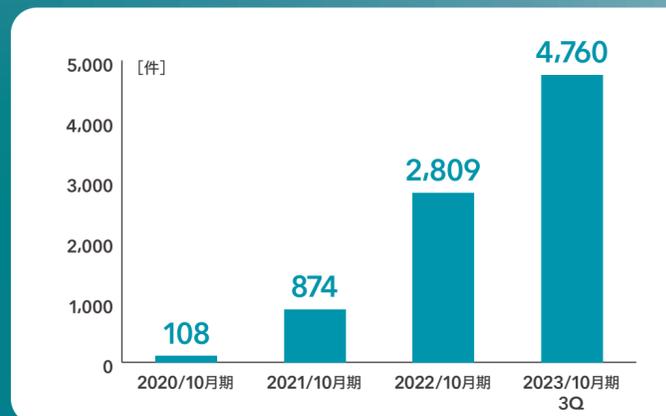
621施設

\* 日本産婦人科学会 施設検索  
(2023年7月現在)

実績を裏付けとした持続的な成長

血液由来加工受託件数  
累計実績

4,760件突破



蓄積したアセットを活用した新サービスの開始

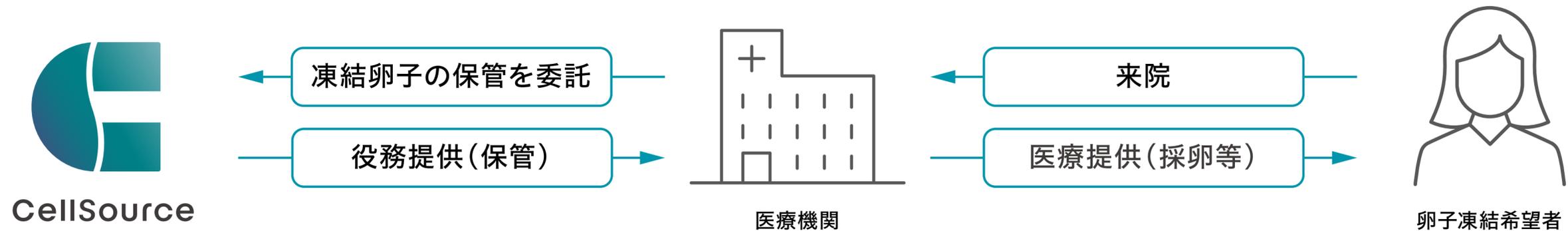
卵子凍結保管  
受託サービス

将来の妊娠のために医療機関にて  
採卵・凍結した卵子の長期保管を  
受託するサービス



## 卵子凍結バンクの概要

将来の妊娠のために医療機関にて採卵・凍結した卵子の長期保管を受託するサービス



### セルソースの強み

**232**院

医療機関ネットワーク

232院の産科婦人科と既契約

保管技術

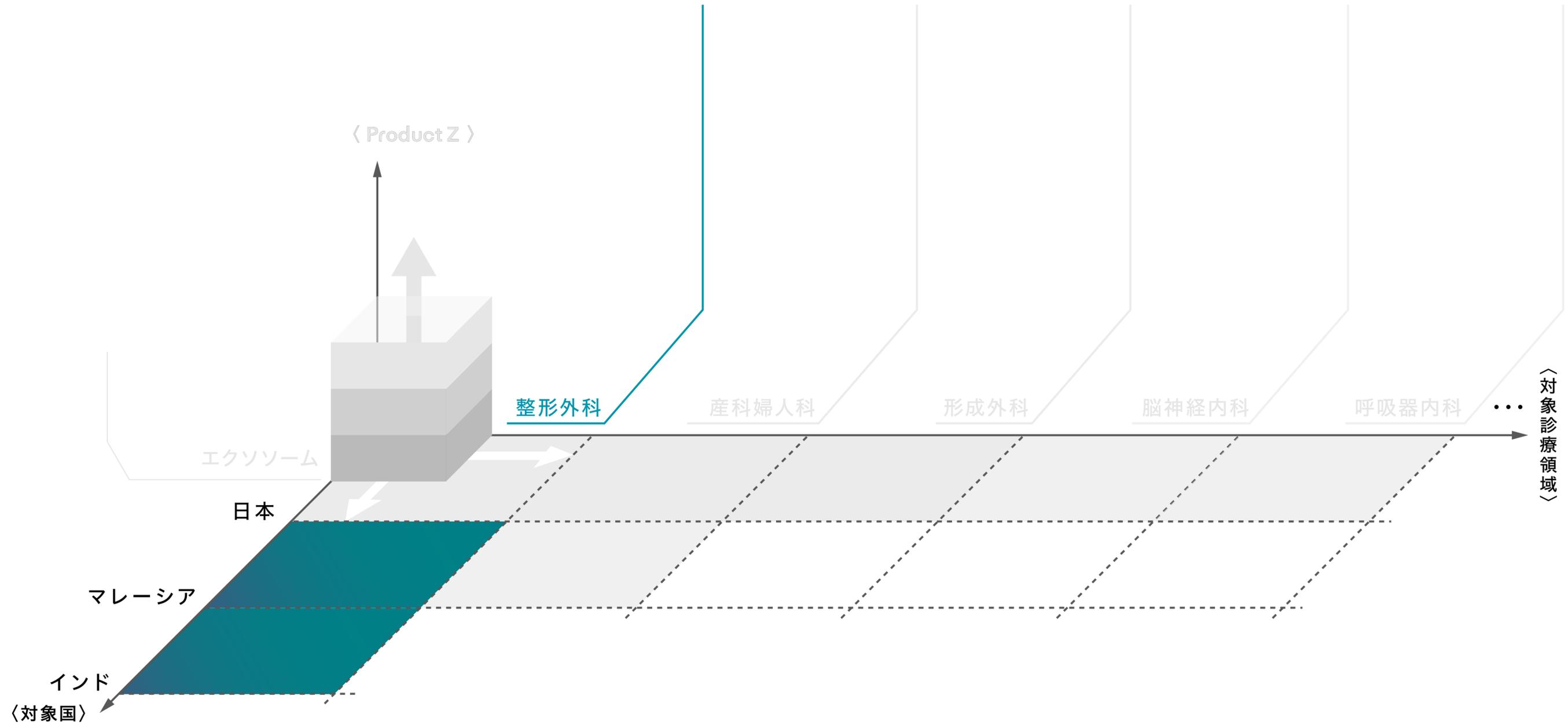
加工受託サービスで培った超低温環境での長期間保管技術、サービス運用ノウハウ

保管施設

セキュリティを担保した保管施設

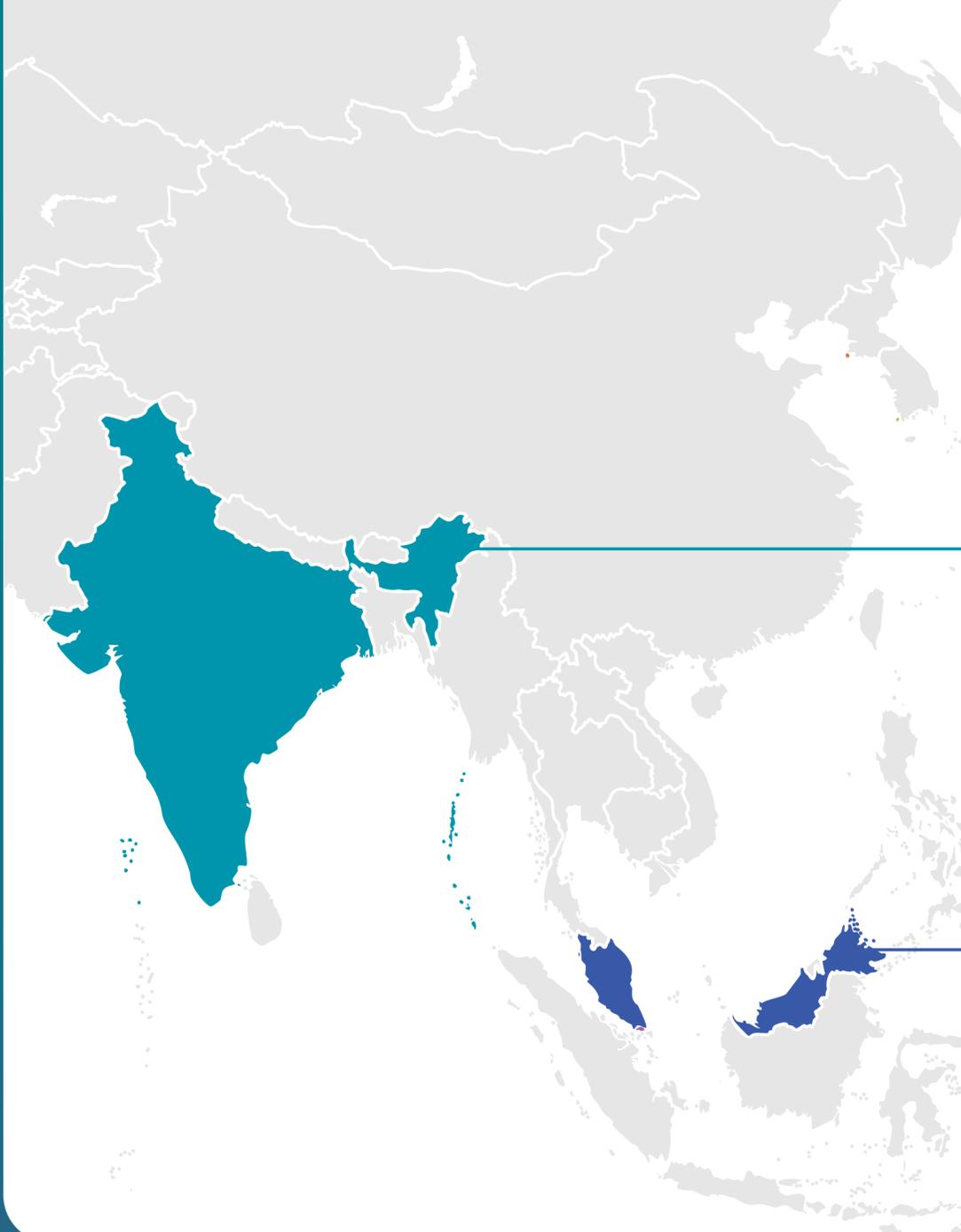
### 市場ニーズの高まり

- 2013年に日本生殖医学会が「未受精卵子および卵巣組織の凍結・保存に関するガイドライン」を提示
- 日本で実施されている社会的適応卵子凍結の実施件数は毎年増加しており、今後も需要が拡大することが見込まれる  
※日本受精着床学会「卵子凍結に関するアンケート調査」
- 2022年12月、東京都は、健康な女性が将来の妊娠に備えるための卵子凍結にも助成金を出す方針について発表



※形成外科領域、マーケティング支援事業、マーケティング支援事業・データ活用事業に関しては、引き続き事業継続をしておりますが、投資判断に影響を及ぼす事業進捗がないことから、記載を省略しております。投資判断に影響を及ぼす進展があれば、適宜、適切な方法で速やかに開示します。

今後さらに医療へのニーズが高まると推察される地域において、PFC-FD™の関連サービスを展開



日本

総人口 **125**百万人<sup>\*1</sup> (2020年)      高齢者比率 **28.9%**→**38.4%**<sup>\*1</sup> (2020年) (2065年)

インド

インド・ベンガールの総合病院の運営法人にPFC-FD™の製造を許諾するライセンス契約を締結。PFC-FD™の初の海外臨床応用例に。

総人口 **1,353**百万人<sup>\*2</sup> (2018年)      高齢者比率 **6.2%**→**13.8%**<sup>\*2</sup> (2018年) (2050年)

×

現地の総合病院  
運営法人

マレーシア

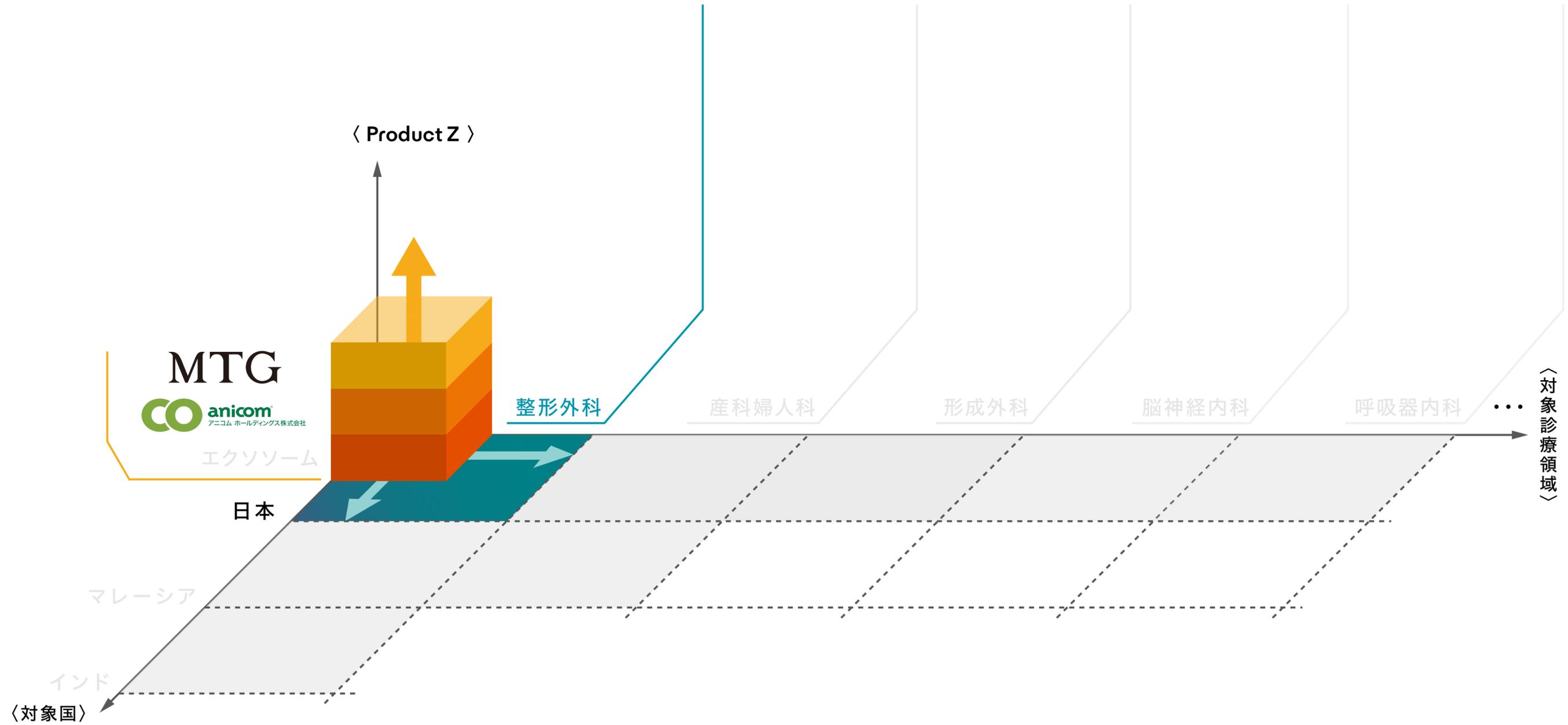
現地の上市企業であるTexchem Resources Berhadと共同出資の上、当社初の現地法人を設立予定。今後さらに医療へのニーズが高まると推察されるマレーシアにおいて、PFC-FD™の加工受託サービスを展開。

総人口 **32**百万人<sup>\*3</sup> (2018年)      高齢者比率 **6.7%**→**17.0%**<sup>\*3</sup> (2018年) (2050年)

×

\*1 内閣府HP: 令和4年版高齢社会白書 高齢化の状況      \*2 経済産業省HP: R3年度「医療国際展開カントリーレポート 新興国等のヘルスケア市場環境に関する基本情報 インド編」  
\*3 経済産業省HP: R3年度「医療国際展開カントリーレポート 新興国等のヘルスケア市場環境に関する基本情報 マレーシア編」

※PFC-FDはセルソース株式会社の保有する商標です。



※形成外科領域、マーケティング支援事業、マーケティング支援事業・データ活用事業に関しては、引き続き事業継続をしておりますが、投資判断に影響を及ぼす事業進捗がないことから、記載を省略しております。投資判断に影響を及ぼす進展があれば、適宜、適切な方法で速やかに開示します。

巨大なポテンシャルを有する動物領域に参入

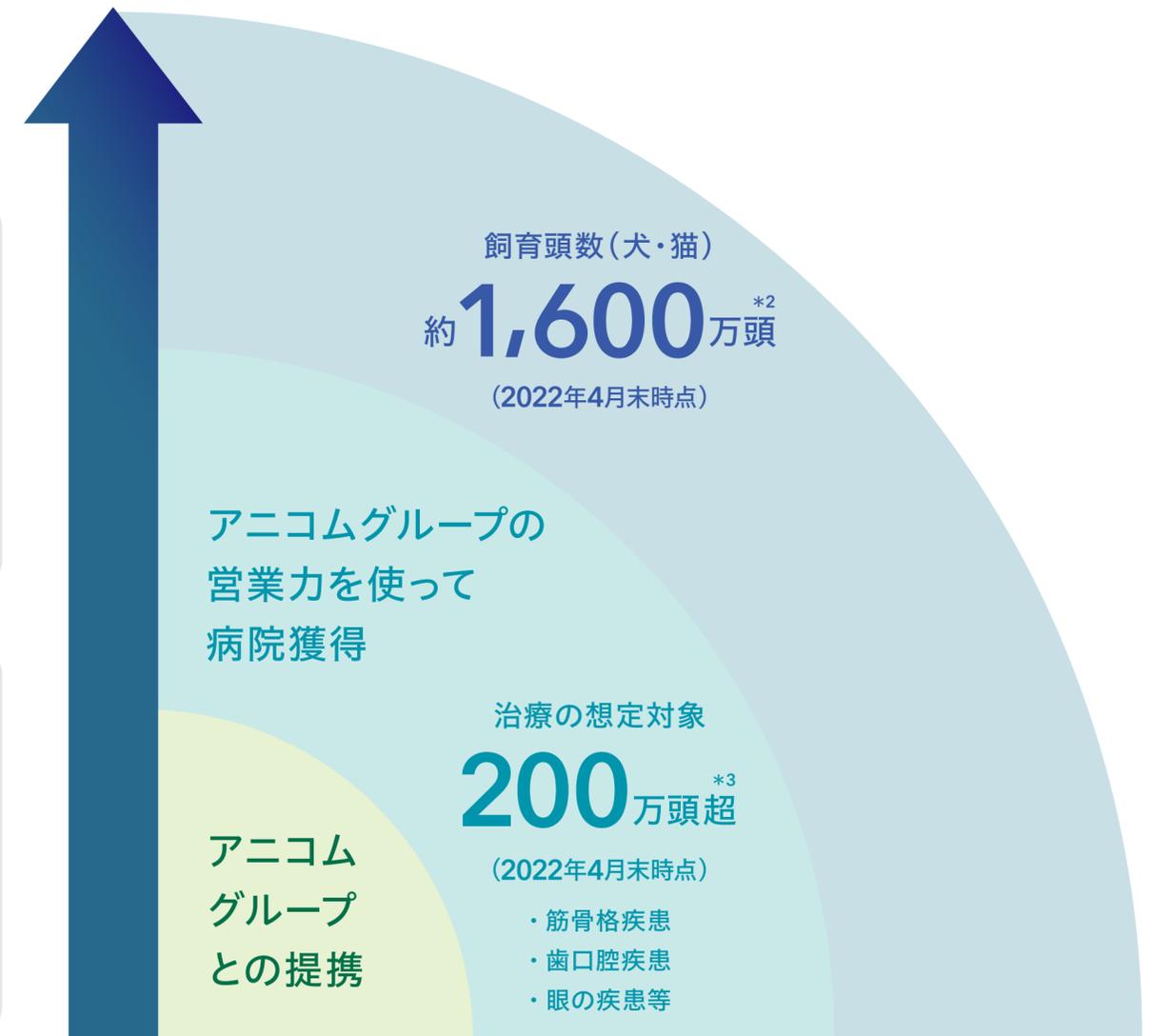


アニコム動物病院グループ  
病院数 **57** 院  
(2022年4月末時点)

ペット保険  
どうぶつ保険のシェア **No.1**  
保険契約件数は **100** 万件超  
※アニコムホールディング調べ

動物再生医療技術研究組合  
(PARM)<sup>\*1</sup>  
加入病院数 **667** 院  
(2023年7月末)

先進医療の取組み



当社とアニコムグループが加盟している動物再生医療技術研究組合(PARM)を通じて  
イヌ血小板由来成長因子療法の臨床研究を開始

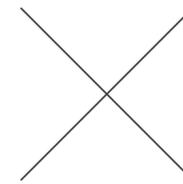
\*1 未だ確立されていない飼育動物(イヌ・ネコ)向け細胞治療サービスについて、各プロセスを標準化し、あらゆる診療施設の獣医師が、安全かつ有効な細胞治療サービスを提供できる仕組みの実用化を目的とし、アニコムグループが中心となって立ち上げた産学官の連携を柱に共同研究を行う非営利公益法人。2019年12月10日設立。

\*2 一般社団法人 ペットフード協会 2022年(令和4年)全国犬猫飼育実態調査 結果

\*3 アニコムホールディング調べ

第一弾として、変形性膝関節症のリハビリに活用する「SIXPAD Knee Fit」を  
提携医療機関に対し提供開始

# MTG



## CellSource

MTGと当社は、両社の専門的な知見と独自のネットワークを活かし、引き続き医療・ヘルスケア分野における協業を行ってまいります。今後、MTGが医療機関に対して当社のサービスの新規提案を行うほか、新規サービスの共同開発と展開を目指し、取り組みを進めます。

### 【株式会社MTG】

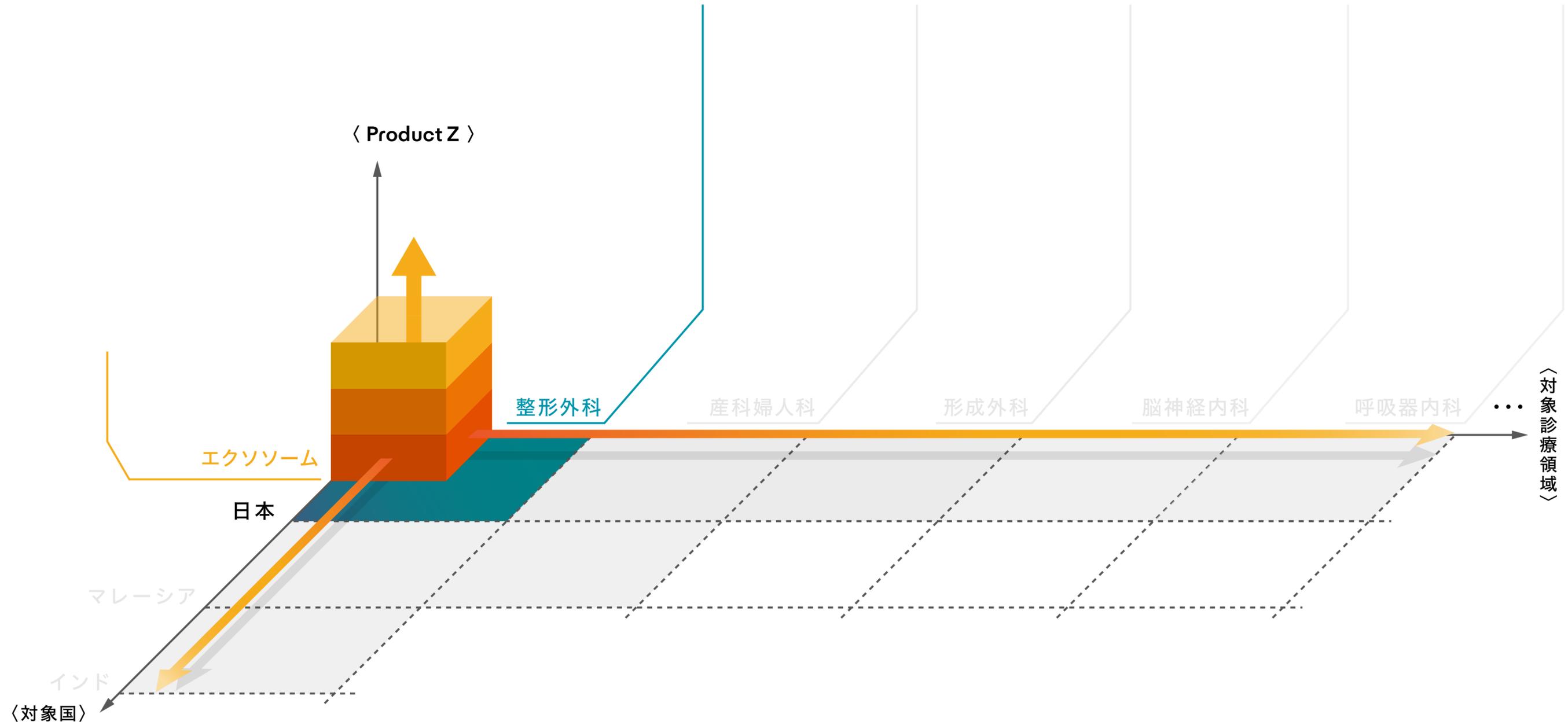
東証グロース上場（証券コード：7806）

従業員数 1,422人（2023年7月末現在）

資本金 167億円（2023年6月末現在）

売上高 48,984百万円（2022年9月期）

# 非連続的成長を実現するエクソソーム戦略



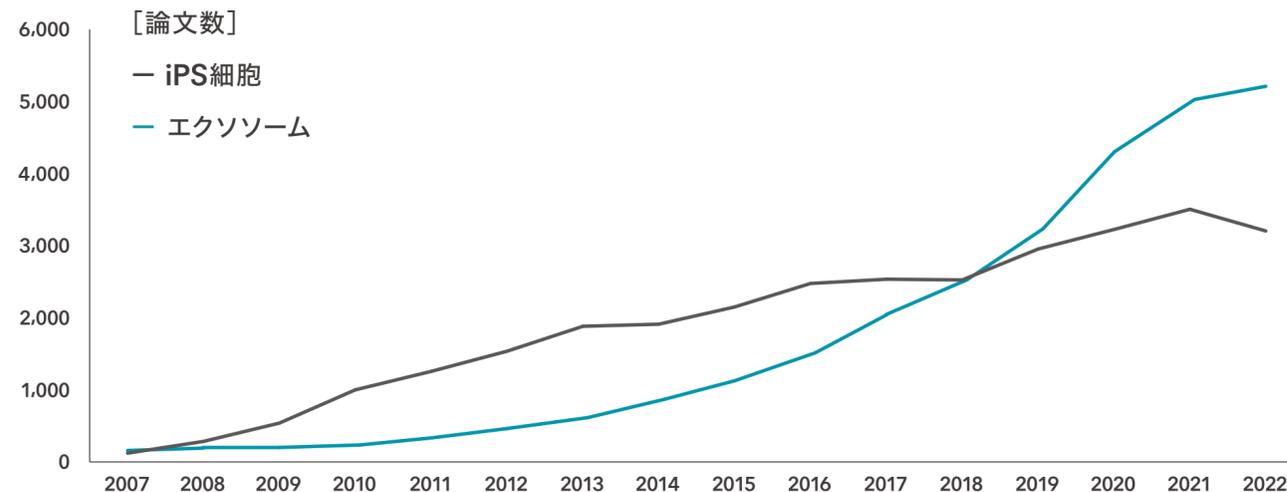
※形成外科領域、マーケティング支援事業、マーケティング支援事業・データ活用事業に関しては、引き続き事業継続をしておりますが、投資判断に影響を及ぼす事業進捗がないことから、記載を省略しております。投資判断に影響を及ぼす進展があれば、適宜、適切な方法で速やかに開示します。

## エクソソームの概要

- エクソソームは、細胞から分泌される直径50-150nm(ナノメートル:10億分の1メートル)の顆粒状の物質。
- 表面には細胞膜由来の脂質、タンパク質を含み、内部には核酸(マイクロRNA、メッセンジャーRNA、DNAなど)やタンパク質など細胞内の物質を含む。
- 日本医療研究開発機構(AMED)にて「エクソソーム製剤の品質管理戦略構築に関する研究」として課題採択されるなど産官学で、産業化に向け動き出しており、近年急速に注目度が高まっている。

※国立研究開発法人HP: 令和4年度「医薬品等規制調和・評価研究事業(1次公募)」の採択課題について

## 世界が注目するエクソソーム(論文数)



## 1 様々な疾患への治療効果が示唆

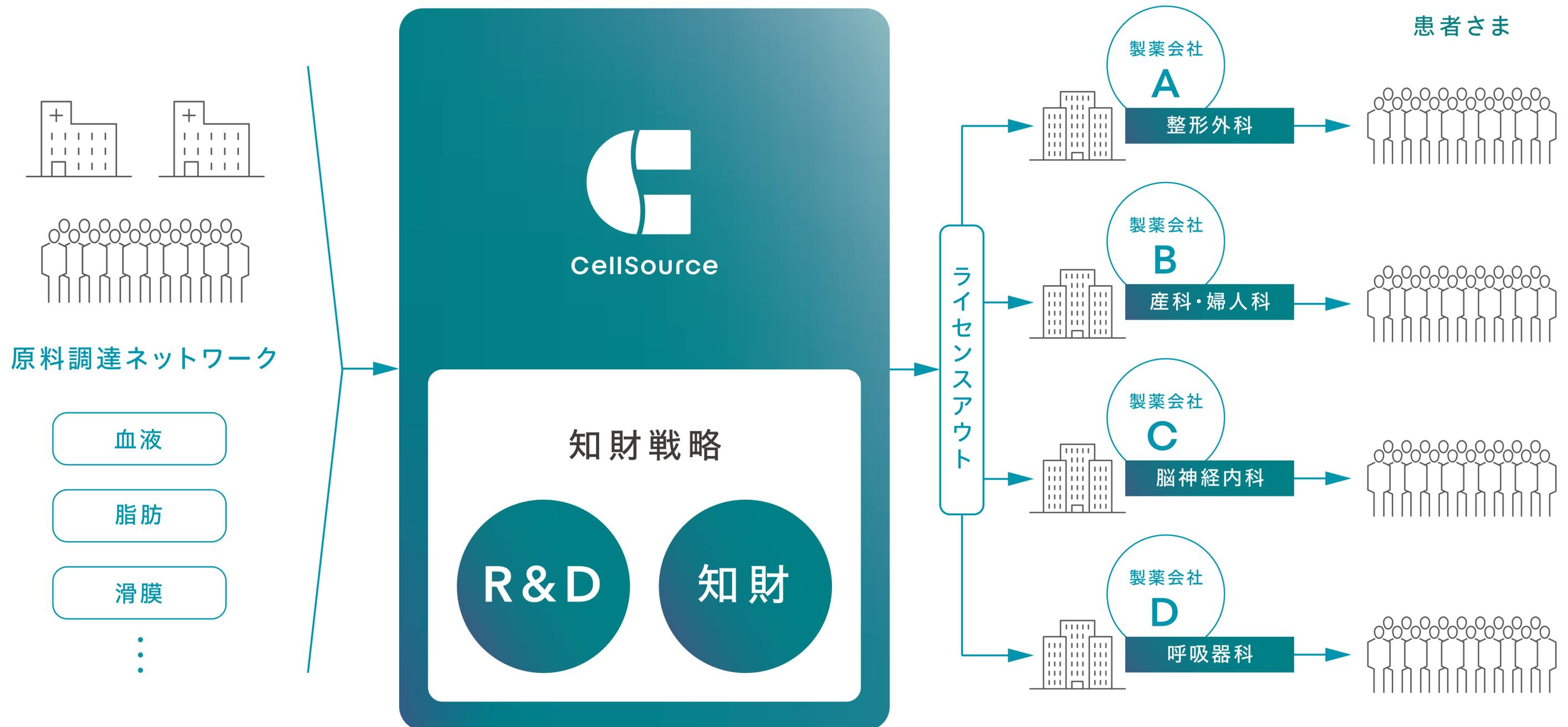
- エクソソームは、様々な疾患(新婚心筋梗塞、急性腎炎、アルツハイマー病など)に対し治療効果をもつことが示唆されており、新たな疾患治療薬として注目されている。
- 期待される効果として、抗炎症作用、組織修復作用、免疫調整作用、血管新生、細胞遊走等があげられる。

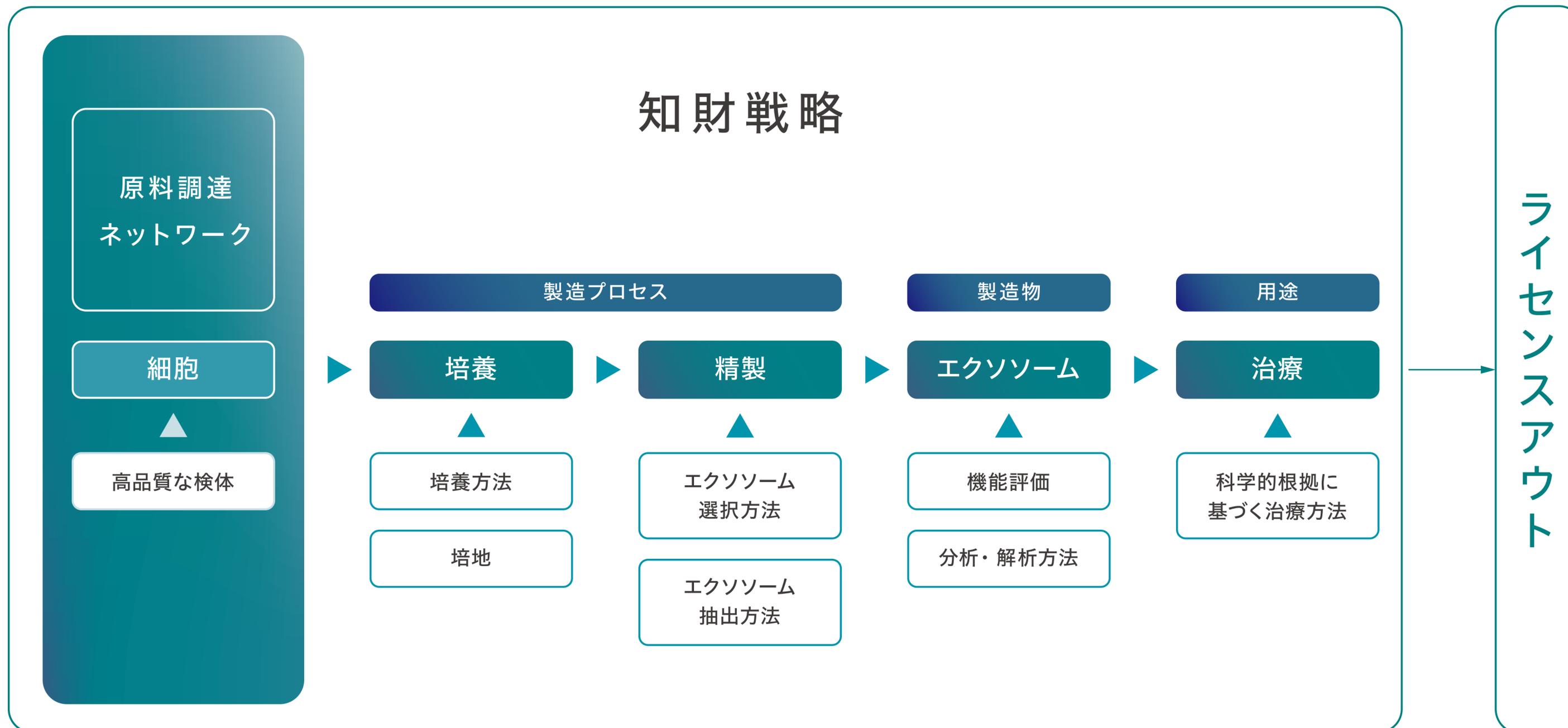
※ Katsuda T, Kosaka N, Takeshita F, Ochiya T. The therapeutic potential of mesenchymal stem cell-derived extracellular vesicles. *Proteomics*. 2013, 13, 1637-1653.

## 2 市場ポテンシャルが大きい

- 他家のエクソソームを使用することが可能であるため、自家の細胞や血液を使用する必要があるASCやPFC-FD™と比較して大量に生産が可能。
- これにより低価格でのサービス提供が可能となり、多くの顧客層にリーチすることができるため、市場ポテンシャルが大きいと考えられる。

※PFC-FDはセルソース株式会社の保有する商標です。





日本初のエクソソーム医薬品創出に向け、フィージビリティ・スタディ契約を締結

科研製薬の強み

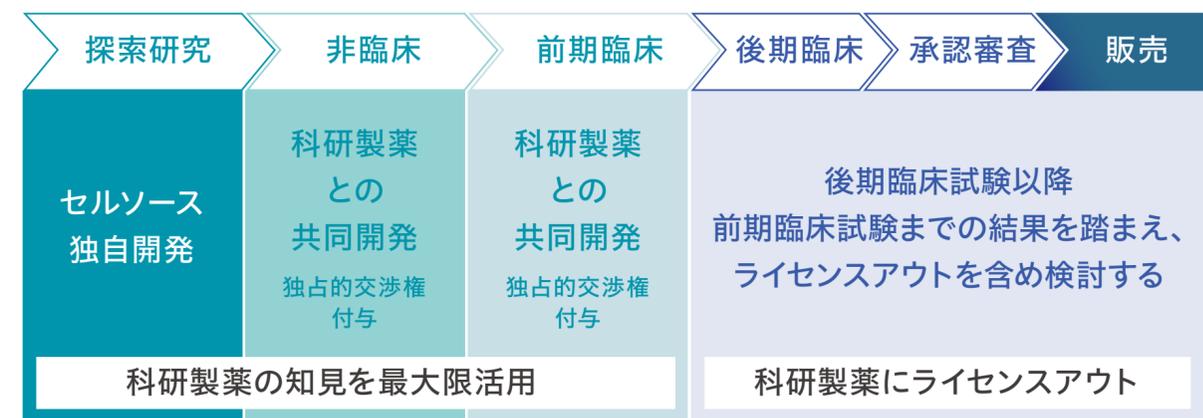


連結売上高 **729** 億円 (2023年3月期)

世界初のヒアルロン酸の関節機能改善剤で高い売り上げを誇る

- 関節機能改善剤「アルツ」の2023年3月期の売上:170億円
- 整形外科領域において高いプレゼンスと販売実績を有する

創薬ロードマップ

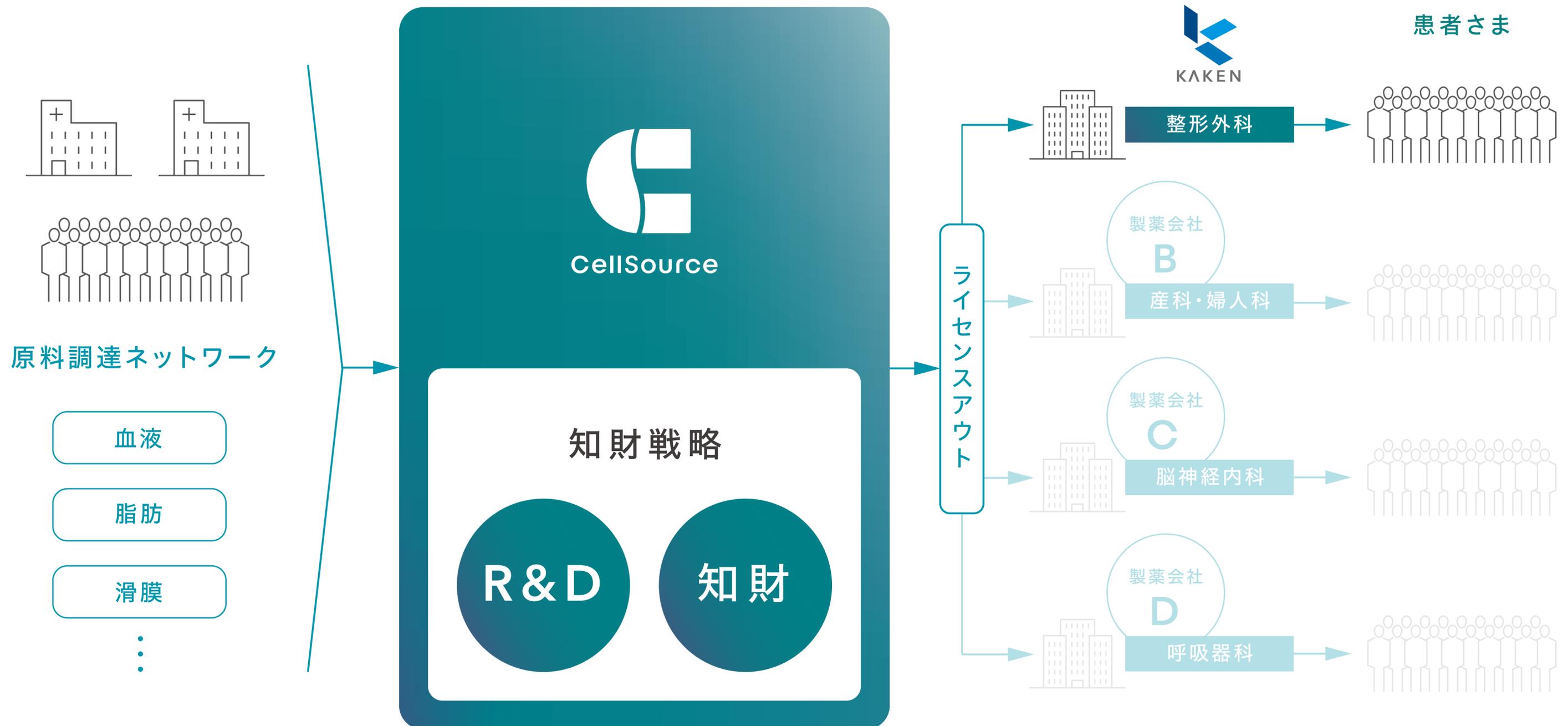


各種医薬品の開発経験  
と、整形外科領域に  
おける高いプレゼンス・  
販売実績



再生医療分野で培った  
エクソソームの単離・  
精製技術

エクソソーム医薬品の開発を加速



武田薬品工業 元代表取締役 岩崎真人氏が  
当社の創薬戦略顧問に就任

就任の目的

非連続的成長の柱となる  
エクソソーム創薬事業の拡大に向けた  
薬事戦略の立案・推進と  
人的資本ネットワークの提供

経 歴

- 1983年 東京薬科大学薬学部卒業
- 2020年 武田薬品工業株式会社 代表取締役
- 2022年 東京薬科大学 客員教授（現任）
- 2022年 JSR株式会社 社外取締役（現任）
- 2023年 株式会社Rock&Company 代表取締役CEO（現任）
- 2023年 株式会社経営共創基盤 シニアエグゼクティブフェロー（現任）

創薬戦略顧問

岩崎 真人



本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。

これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、市場環境、法的規制、品質・安全性の確保及び製造体制、特定の取引先、風評リスク、研究開発、広告宣伝戦略、システム障害等が含まれます。



CellSource